

# 共通教育

「学生による授業評価」ならびに  
「教員のFD活動レポート」

## 報告書

平成23年度（前・後学期）



平成 25 年 2 月

宮 崎 大 学

**平成 23 年度（前期・後期）  
共通教育「学生による授業評価」ならびに  
「教員の FD 活動レポート」報告書  
の刊行にあたって**

平成 23 年度前・後学期分の共通教育「学生による授業評価」ならびに「教員の FD 活動レポート」報告書が完成しました。この報告書は平成 16 年度の前・後学期以来通算 12 冊目に当たります。平成 19 年度までは前学期と後学期を別冊で発行してきましたが、平成 20 年度から合冊としました。

質問項目や結果の整理・分析の方法はこれまでの報告書の場合とほぼ同じです。23 年度は第 2 期中期目標・中期計画の 2 年目でもあり、本年度の前・後学期の状況とともに、これまでの報告書を併せて読んで頂ければ、第 1 期中期目標・中期計画期間からの本学における共通教育の推移・動向を通覧することができると思われます。

本学では継続的に共通教育のあり方についての議論が行われていますが、本報告書を含むこれまでの 12 冊の報告書はその基礎資料になると考えられます。できるだけ多くの教職員の方々に目を通して頂き、共通教育に対する一層の理解及び継続的充実・発展のために役立てて頂ければ幸いです。

最後に、今回の報告書の取り纏めが大きく遅れたことをお詫びしますと共に、ご多忙中にも拘わらず、「学生による授業評価」および「教員の FD 活動レポート」にご協力頂いた授業担当教員各位に深く感謝致します。

平成 25 年 3 月

共通教育部自己点検・評価委員会委員長  
飯田 雅人

# 目 次

I 平成 23 年度前学期	1
第1章 実施の記録・調査票・結果報告書・FD 活動レポート	2
第2章 学生による授業評価の結果について	6
【1】全科目の平均	6
【2】科目群ごとの分析	8
第3章 教員による FD 活動レポートについて	9
【1】教育活動について	9
【2】教員の FD 活動の状況	10
【3】「コミュニケーション能力の育成」について	12
【4】「地域を教材とする共通教育プログラム」について	13
【5】教員の声 (FD レポートの自由記述欄)	14
第4章 科目ごとのデータ一覧	23
II 平成 23 年度後学期	35
第5章 実施の記録	36
第6章 学生による授業評価の結果について	37
【1】全科目の平均	37
【2】科目群ごとの分析	38
第7章 教員による FD 活動レポートについて	39
【1】教育活動について	39
【2】教員の FD 活動の状況	40
【3】「コミュニケーション能力の育成」について	41
【4】「地域を教材とする共通教育プログラム」について	41
【5】教員の声 (FD レポートの自由記述欄)	43
第8章 科目ごとのデータ一覧	49
「共通教育部自己点検・評価委員会」委員名簿	58

# I 平成 23 年度前学期

## 第1章 実施の記録・調査票・結果報告書・FD活動レポート

平成23年度前学期の共通教育科目に関する「学生による授業評価」及び「教員のFD活動レポート」は次のように実施された。

実施時期	平成23年(2011年)7月の授業期間中。
対象科目	すべての共通教育科目(230科目)。
実施方法	実務は学生支援部共通教育支援室と教育・学生支援センター(武方壮一准教授)が担当し、各科目の登録学生数に応じた枚数の調査票をあらかじめ用意し各教員に配布した。各教員は授業時間内に学生に調査票を配布して調査を実施し、ただちに回収した。その後、教育・学生支援センター(同上)が集計作業を行った。
回収率	85%(230科目中196科目を回収した。)
返却	各教員には調査票の現物とともに「結果報告書」を返却した。
FD活動レポート	FD活動レポートは、前回同様に常勤教員は原則Web入力によった。非常勤教員に関しては従来通りに所定用紙を配布し、記入の後、学生用調査票とともに提出して貰った。その後、「学生による授業評価」アンケートと同様に教育・学生センター(武方壮一准教授)が集計作業を行った。 提出率は78%(230科目中、180科目分のFD活動レポートが提出された。)
報告	すべての科目の集計結果(生データ)は共通教育部自己点検・評価委員会に報告され、報告書は当該報告に基づき同委員会報告書作成WGが作成した。 更に、報告書は同委員会に上程され、最終的に了承された。

※調査票・結果報告書・FD活動レポートの現物を次ページ以降に掲載した。なお、実際には、「科目コード」「授業科目」「担当教員」に各教員名及び授業名等のデータがあらかじめ記入されたものが配布される。

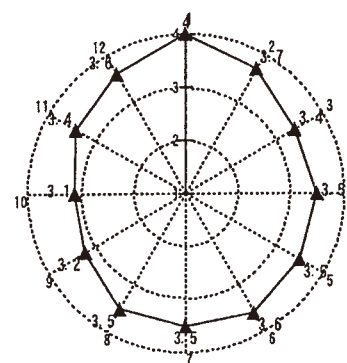
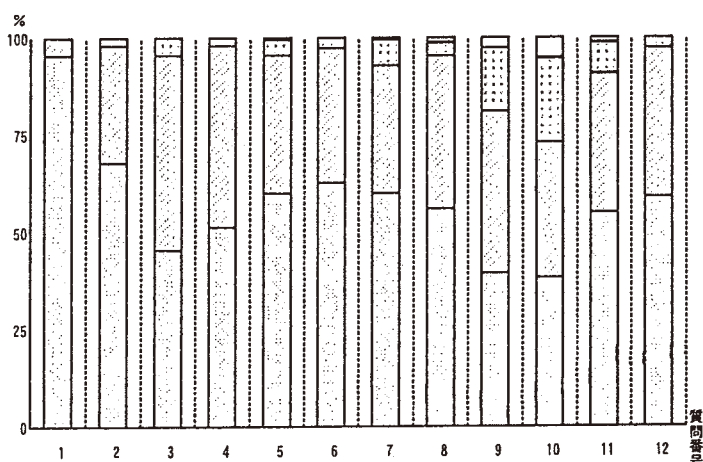


## 「学生による授業評価」の結果報告書

科目コード		科目区分	共通教育		
授業科目					
担当教官		実施時期		回答者数	152

### I. 集計結果

No.	質問項目	4	3	2	1	合計
1	私(回答者自身)は75%以上授業に出席した。	145	7			152
2	私(回答者自身)は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。	103	46	3		152
3	私はこの科目の「達成目標」に到達した。	69	76	7		152
4	授業はシラバスに沿って行われた。	78	71	3		152
5	授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。	91	54	6	1	152
6	話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。	95	53	4		152
7	重要ポイントが明らかで、説明も分かり易かった。	91	50	10	1	152
8	学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。	84	59	5	2	150
9	授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。	60	63	25	4	152
10	クラスサイズ(受講生数)は適切だった。	58	53	33	8	152
11	学習環境は適切だった。	83	54	12	2	151
12	この授業は満足できるものだった。	90	59	4		153
		1047	645	112	18	1822



II. 受講生の授業評価を受けて、分かったこと、感想、改善すべきことなど回答用紙で確認ください。

## 「共通教育担当教員 FD 活動レポート」

※各教員が下記の(1)～(22)の問いへの答えを web 上から入力する。

(1)担当授業科目名, (2)科目コード, (3)回答者名

### 【教育活動について】

- (4)シラバスに沿って授業を行えた。(あてはまる・ややあてはまる・あまりあてはまらない・あてはまらない)
- (5)学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。(同上)
- (6)話し方, 板書の仕方, 機器又は器具の使い方, 等が適切だった。(同上)
- (7)重要ポイントを明示し, 分かり易く説明した。(同上)
- (8)学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。(同上)
- (9)授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。(同上)
- (10)総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。(同上)
- (11)シラバスに掲げた当初の授業目標(ねらい)は達成された。(同上)

### 【FD活動について】

- (12)この授業科目に関してこの1年間に取り組んだFD活動を選んでください。(復習回答可)  
(他教員の授業参観・学内外のFD講演会等への参加・他大学のFD活動の視察・その他)
- (13)今後取り組もうと考えているFD活動を選んでください。(複数回答可)(同上)
- (14)自分の授業の評価できる点や反省すべき点, 或いは, このFD活動レポートに関して特記すべき点があれば書いてください。
- (15)FD活動レポートに関して特記すべき報告があれば添付ファイルで提出してください。

### 【「コミュニケーション能力の育成」について】

- (16)授業の中で「コミュニケーション能力の育成」を考慮した内容が含まれていますか。(はい・いいえ)
- (17)下記のどの点を重視しましたか。(複数回答可)  
(聞いて理解する・読んで理解する・自分の考えをまとめて話す・自分の考えを文章にまとめる)
- (18)「コミュニケーション能力の育成」に関して具体的な取り組みがありましたら記述してください。

### 【「地域を教材とする共通教育プログラム」について】

- (19)授業の中で「地域(宮崎)を教材とする」内容が含まれていますか。(はい・いいえ)
- (20)講義中で取り上げるおよその回数を選んでください。(1回～5回・6回～10回・11回～15回)
- (21)「地域」のどのような分野を取り上げていますか。(複数回答可)  
(歴史・文化, 政治・経済・産業, 自然環境・フィールド体験, その他)
- (22)「地域を教材とした共通教育プログラム」に該当する特色ある活動がありましたら, 記述ください。



## 第2章 学生による授業評価の結果について

### 【1】全科目の平均

前学期のすべての共通教育科目(全230科目のうち回収された196科目)について、質問項目ごとに評価点の平均を計算すると次の通りである。(小数第2位以下は四捨五入した。)

質問項目	学生自身			教員の教え方など						学習環境		総合
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
全科目の平均	3.9	3.5	3.3	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.3	3.6	3.6	3.5

評価は「4:あてはまる, 3:ややあてはまる, 2:あまりあてはまらない, 1:あてはまらない」の4段階で行われている。

上の表をグラフにすると右の通りである。横軸は質問項目を、縦軸は評価点の平均を示している。

質問は以下の12項目である。

A:回答者(学生)自身について

- 1 私は75%以上授業に出席した。
- 2 私は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。
- 3 私はこの科目の「達成目標」に到達した。

B:担当教員の教え方について

- 4 授業はシラバスに沿って行われた。
- 5 授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。
- 6 話し方, 板書の仕方, 機器又は器具の使い方, 等が適切だった。
- 7 重要ポイントが明らかで, 説明も分かり易かった。
- 8 学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。
- 9 授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。

C:その他

- 10 クラスサイズ(受講生数)は適切だった。
- 11 学習環境は適切だった。

D:総合的な授業評価

- 12 この授業は満足できるものだった。

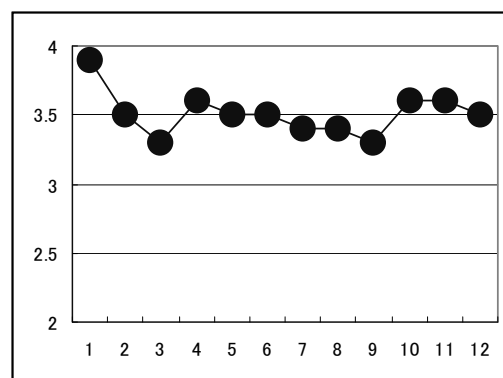


図 質問項目ごとの全科目の平均  
(※縦軸の評価2未満の目盛は省いた。)

以上の結果から次のことが読み取れる。

どの質問項目に関しても「3.5」の前後の値が出ている。個別に見ると次の点が目につく。

(1) 学生自身に関して

「1 出席状況」は良好(3.9)であるが、それに比べて、「3 達成目標に達した」と自己評価している学生の比率はやや低い(3.3)。

(2) 教員の教え方に関して

最も評価が高いのは「4 シラバスに沿って授業が行われたこと」(3.6)であり、最も評価が低いのは「9 予習や復習を課したこと」(3.3)である。

これらの傾向は昨年度と同じである。

- ・ 全体として共通教育に対する学生の評価は悪くない。
- ・ ただし、「学生の目標達成度」(質問項目3)と「予習復習を課すこと」(質問項目9)が、昨年度に引き続き、今後の課題である。

## 【2】科目群ごとの分析

共通教育科目を16の科目群に分類した場合の評価点の平均は次の通りである。

太字の値は「全科目平均」と比べて0.2ポイント以上高いことを、網掛けの値は「全科目平均」と比べて0.2ポイント以上低いことを示している。

質問項目		学生自身			教員の教え方など					学習環境		総合	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
全科目平均		3.9	3.5	3.3	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.3	3.6	3.6	3.5
大学 教育 基礎 科目	(1)大学入門セミナー	3.9	<b>3.7</b>	<b>3.5</b>	3.7	<b>3.7</b>	<b>3.7</b>	3.5	3.5	3.4	<b>3.8</b>	3.7	<b>3.7</b>
	(2)情報科学入門	3.9	<b>3.7</b>	<b>3.5</b>	3.7	3.4	3.5	3.4	3.3	3.4	3.7	3.7	3.5
	(3)英語	3.9	3.5	3.2	3.6	3.5	3.5	3.4	3.2	3.4	3.7	3.7	3.4
	(4)コミュニケーション英語	3.9	3.5	3.2	3.7	3.6	3.6	3.5	3.4	3.4	3.7	3.7	3.6
	(5)保健体育科目	3.9	<b>3.7</b>	<b>3.6</b>	3.7	<b>3.7</b>	<b>3.7</b>	<b>3.7</b>	<b>3.7</b>	<b>3.6</b>	3.3	3.7	3.6
主題 教養 科目	(6)環境と生命	3.9	3.4	3.3	3.6	3.3	3.4	3.3	3.3	3.0	3.5	3.5	3.4
	(7)倫理と文化	3.9	3.4	3.3	3.5	3.4	3.4	3.3	3.3	3.1	3.6	3.6	3.4
	(8)現代社会の課題	3.8	3.3	3.2	3.5	3.4	3.4	3.3	3.2	3.0	3.5	3.5	3.3
	(9)自然の仕組み	3.6	3.4	3.2	3.4	3.2	3.3	3.2	3.1	3.3	3.5	3.5	3.3
選択 教養 科目	(10)文化・社会系	3.8	3.4	3.1	3.5	3.3	3.1	3.1	3.1	2.9	3.4	3.5	3.3
	(11)科学・技術系	3.8	3.0	2.8	3.4	3.0	3.1	2.9	2.8	2.9	3.4	3.4	3.1
	(12)生命科学系	3.8	3.4	3.1	3.5	3.4	3.5	3.3	3.4	3.0	3.5	3.5	3.4
	(13)複合・学際系	3.9	<b>3.7</b>	<b>3.5</b>	<b>3.8</b>	<b>3.8</b>	<b>3.8</b>	<b>3.7</b>	<b>3.7</b>	3.1	3.4	<b>3.8</b>	<b>3.8</b>
	(14)キャリア・生涯学習系	3.8	3.6	<b>3.5</b>	3.7	<b>3.7</b>	3.6	<b>3.6</b>	<b>3.6</b>	3.2	3.7	<b>3.8</b>	<b>3.7</b>
	(15)外国語系	4.0	<b>3.7</b>	3.1	3.6	3.5	3.6	3.5	3.5	<b>3.5</b>	3.7	3.7	3.6
(16)日本語・日本事情	3.9	<b>3.8</b>	<b>3.7</b>	<b>3.8</b>	<b>3.9</b>	<b>3.9</b>	<b>3.9</b>	<b>3.9</b>	<b>3.8</b>	<b>3.8</b>	<b>3.8</b>	<b>3.9</b>	

- ・「大学入門セミナー」、「保健体育科目」、「日本語・日本事情」が、全科目平均より高い評価の項目が多い。

### 第3章 教員によるFD活動レポートについて

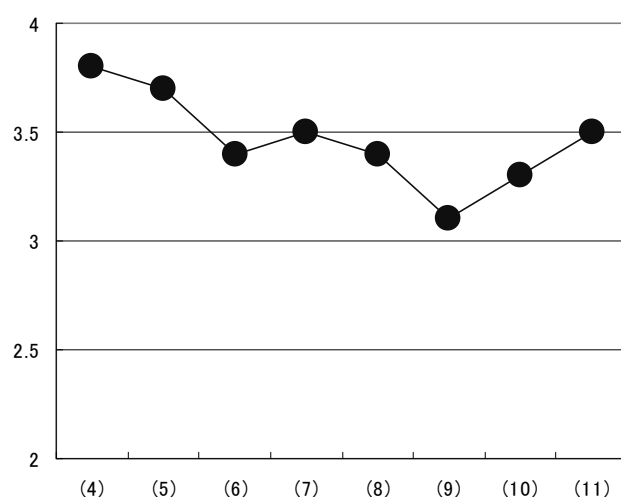
教員自身が自分の教育活動をどのように評価しているかを見ていこう。(なお、FD活動レポートの質問項目は p. 5 参照。)

#### 【1】教育活動について

以下の設問への回答は「4:あてはまる, 3:ややあてはまる, 2:あまりあてはまらない, 1:あてはまらない」の4段階で行われている。回答の平均値を( )の中に示した。

- (4) シラバスに沿って授業を行えた。 (3.8)
- (5) 学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。 (3.7)
- (6) 話し方, 板書の仕方, 機器又は器具の使い方, 等が適切だった。 (3.4)
- (7) 重要ポイントを明示し, 分かり易く説明した。 (3.5)
- (8) 学習意欲や知的的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。 (3.4)
- (9) 授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。 (3.1)
- (10) 総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。 (3.3)
- (11) シラバスに掲げた当初の授業目標(ねらい)は達成された。 (3.5)

グラフにすると次のとおりである。



これらの平均値を見ると、「シラバスに沿って授業をおこなう」、「学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整する」という項目の達成度が高く、他方、「予習・復習或いは発展学習を課した」という項目の達成度が低いことが分かる。学生による評価とも一致している。(p. 6を参照。)

## 【2】教員のFD活動の状況

(12) この授業科目に関してこの1年間に取り組んだFD活動を選んでください。(複数回答可)

他教員の授業参観 ..... 37 人

学内外のFD講演会等への参加 ..... 84 人

他大学のFD活動の視察 ..... 10 人

その他(自由記述)

- ・演習用視聴覚機器の結線変更, ソフトウェアバージョンアップに伴う講義資料の改訂
- ・教養講義に関する書物から得た自分なりの工夫
- ・FD 報告書を読んだ。
- ・コミュニケーションスキルの指導等に関する文献の収集
- ・パワーポイント講義資料の修正等を施行した。
- ・学生に授業についての意見を聞いた。
- ・教材開発
- ・研究活動の充実を授業活動の充実につなげること
- ・昨年度からの反省点を各教員が改善した。
- ・指導書, 実際のゲームを視聴することで自己研鑽を積んだ。
- ・指導書等を参考に, 自己研鑽を積んだ。
- ・資料作成
- ・授業内容プリント内容の現代化
- ・他の先生方の意見を参考にした。
- ・他教員との意見交換
- ・他教員と授業についての情報交換を行った。
- ・他教員の指導方法等の情報交換を行った。

(13) 今後取り組もうと考えているFD活動を選んでください。(複数回答可)

他教員の授業参観 ..... 61 人

学内外のFD講演会等への参加 ..... 91 人

他大学のFD活動の視察 ..... 14 人

その他(自由記述)

- ・FD 懇談会は, 互いに共通教育+学部専門教育の在り方を身近に学び, 相互批判がある貴重な機会だと考える。
- ・ソフトウェアバージョンアップ等に伴う講義資料改訂
- ・良い講義に向けた新しい努力
- ・FD・懇談会の意見を参考にする。
- ・さらに参考文献を集めて勉強したい。

- ・教材開発
- ・研究活動の充実を授業活動の充実につなげること
- ・講義資料を図解でわかりやすく工夫する。
- ・資料作成
- ・内容の精選

### 【3】「コミュニケーション能力の育成」について

(16) 授業の中で「コミュニケーション能力の育成」を考慮した内容が含まれていますか。

はい ..... 120 人

いいえ ..... 53 人

(17) 下記のどの点を重視しましたか。(複数回答可)

聞いて理解する ..... 63 人

読んで理解する ..... 54 人

自分の考えをまとめて話す ..... 75 人

自分の考えを文章にまとめる ..... 72 人

(18) 「コミュニケーション能力の育成」に関して具体的な取り組みがありましたら記述してください。

- ・グループ学習により相互のコミュニケーションを促す。
- ・ペアで課題に取り組む，ペアで対戦するという中で育成が図られていると思う。
- ・自分の考えをコンパクトにスライドにまとめる。
- ・小学生とのコミュニケーション能力を高める。
- ・分からない点を積極的に質問させる。

#### 【4】「地域を教材とする共通教育プログラム」について

(19) 授業の中で「地域(宮崎)を教材とする」内容が含まれていますか。

はい ..... 34 人

いいえ ..... 120 人

(20) 講義中で取り上げるおおよその回数を選んでください。

1 回～5 回 ..... 31 人

6 回～10 回 ..... 2 人

11 回～15 回 ..... 2 人

(21) 「地域」のどのような分野を取り上げていますか。(複数回答可)

歴史・文化 ..... 7 人

政治・経済・産業 ..... 7 人

自然環境・フィールド体験 ..... 17 人

その他(自由記述)

- ・宮崎の森林資源の活用について
- ・教育資源
- ・口蹄疫について取り上げた。
- ・自然環境から予防医学を考える項目を取り入れている。
- ・生活・場所
- ・地域の民謡をアレンジした曲を使用したり、地域の祭りを紹介したりした。
- ・美術



## 【5】教員の声(FD レポートの自由記述欄)

【自分の授業の評価できる点や反省すべき点、或いは、このFD活動レポートに関して特記すべき点があれば書いてください。】

### (1)大学入門セミナー

- ・すべての学生が満足できる講義内容を組むのは、非常に難しい。
- ・様々な活動に取り組みせ、なかでも図書館利用、調べ学習とプレゼンについては、色々な段階を踏ませながら、目標に到達できたように思われる。しかし、レポート課題については、一年生にしては少し課題文献が難しい部分があったように思われた。今後は課題文献の読解負荷を下げるか、レポート作成の目標レベルを少し下げるかしたほうがよいように思われた。
- ・社会システムコースの大学入門セミナーは、5名の教員が担当して行われた。最後の講義では、5名の教員が担当したすべての学生を対象としてアンケートが行われたが、全体的に評価がよかった。評価できる点と考えられる。反省すべき点は、私個人についてであるが、大学の講義を受けるにあたる能力は、各学生により異なる。たとえば、ノートテイクに関する講義について、一部の学生には、問題のないことであっても、他の学生には、問題があり、指導が必要と考えられる学生は、指導を行っても、講義を聞く様子もなく、自分に問題があることもわからない様子であった。このような学生への対応を検討しなければならないと思う。
- ・担当している論作文の技法の時間(2回)では、その実践の成果をまとめさせている。先輩の模範例も提示しているので、それを参考して上質のものを、大半の受講者が作成している。
- ・学生がもっと積極的に授業に参加するような工夫が必要であると感じた。
- ・音楽科教育の各領域について概観させることにより、音楽科教員を目指す4年間の学習について見通しを持たせることができた。
- ・FD活動レポートや学生アンケート等を参考にして、より良い授業づくりに取り組んでいきたいと思っています。
- ・大学入門セミナーは初年次教育であり、高校と大学の違いなどを踏まえた内容を説明しました。また、与えられた課題に対する調査方法、聴き手に分かるようにプレゼン資料を作成するなどの要点を説明しています。オムニバス形式で9名の教員で実施し、具体的なテーマの設定は教員により異なりましたが、上記の観点は統一して評価を行いました。学生からは同じ内容(テーマ)で実施して欲しいとの要望があり、これについては今後の検討課題です。
- ・昨年の評価を踏まえて今年度は授業の組み立てを改善したので、その成果が今後の授業に臨む姿勢等にどのようにあらわれてくるのかが楽しみである。

### (2)情報科学入門

- ・コンピュータの習熟度に応じて課題を設定したが、習熟度の低い学生へ最低限に履修すべき内容まで到達させることができなかった。
- ・元々のコンピュータに対する理解度が大きく異なるので、受講者全員が満足する講義内容を組む

のは難しい。

- ・少しブランクがあって、久しぶりに担当した科目であった。共通するパソコンから、学生持参のパソコンに変わったため、学生の中の違いが大きく、なかなか難しかった。必要な対応については、今後整理していきたい。
- ・コンピュータの理論よりも「使い方」に焦点を当てて授業を行った。担当の学生は学校教育課程に所属していたので、将来教育現場で務めることを意識して、Word や Excel, Power Point の使い方を教授したつもりである。途中で「教育実習の視察」のために 2 回連続でこの授業を休講にせざるを得なかった。最近思うようになったのだが、半期に 15 コマの授業を行うように励行されているのに、授業を潰してまで教育実習の視察を行う意義や価値が本当にあるのだろうか？教育文化学部の教育実習運営委員会等に検討をお願いしたい。
- ・学生が予習復習できるよう、ホームページ上で講義内容を公開した。
- ・今年から、実習室ではなく個人PCを利用した講義であった。当初はうまく講義が運営されると思われたが、java アプレットを使用する段階でトラブルが複数の学生に発生した。相当数の学生がネットワークのコンセプトも理解しないまま、ブラックボックスにしておきたい部分でトラブルが発生すると説明の仕様がな。次年度からテクニカルな問題が発生しないように、講義デザインを修正する必要がある。専門教育に実習室を優先的に割り当てて、1 年生最初の情報実習講義を実習室から締め出す方針は、いかがなものか？もしその理由が新入生のPC購入を促進させるためであるのなら、全く現場を省みない、建前ありきの発想ではないか？学生実験とことなり、1 名の学生のトラブルがクラス全体の講義進行に遅滞をきたすのが、情報実習教育の性格である。
- ・学生の好奇心を持たせるために、他の授業(電磁気学)で学んだ内容を講義に取り入れた。学生からは、復習ができた、パソコンに慣れたなどの意見が寄せられた。
- ・授業中の課題の進捗状況をTAとともに随時確認し、講義の時間だけでは十分に理解できていない学生に対して授業とは別の日に補習を行った。さらに進んだ内容の講義を求める学生もいたが、授業のレベルを特定の学生に合わせることはできないので、個別に対応した。
- ・1年生前期の必修科目であるが、例年に比べ、他の1年次必修科目も含めて欠席する学生が目立った。入学直後からこうなので、当初から学習意欲や向上心に欠ける学生が入学してきているように感じてならない。講義の性質上、実習・演習を多く取り入れて興味が途切れないよう工夫してはいるが、将来の目標を、より早い段階で、明確かつ具体的に定める手助けをまずしていく必要を感じる。

### (3) 英語

- ・単位の実質化を実現している。厳密な成績評価を行っている。
- ・適切に事前事後の学習を課している。
- ・評価できる点は、使用したテキスト(Momo)は学生の興味を引いたのではないかとと思われる点である。また、精読と速読を組み合わせたこともよかったとおもう。授業では精読を行い、文法の確認も行いつつ、英文を丁寧に読んだことである。これと併せて、各自に自由にどんどん先を読み進めることをすすめて、全体から 1 部を選ばせて暗誦させたり、一番気に入ったところについて発表させたりすることで、速読に近い読み方も各自でできるように促した。反省点は、テキストはおおむね好評だったも

の、学生によってはもっと難しい英文をよみたかったという感想もあったことである。テキストの難易度をどこに合わせるかは難しい問題で、今後はこの点を考慮していきたい。

- ・3学部(農・工・教)の学生の混成クラスだったので、個人別だけでなく、学部別のレベルの違いに対応出来るようなクラスを組織するのに苦労した。2年生なので、1年生よりは多少レベルの高いものを扱ってみたが、必ずしもこなせていない学生たちも結構いた。とにかく学生たちの活動を中心に据えたクラスの運営に努力した。

#### (4)コミュニケーション英語

- ・授業終了後に学生の質問に一人ずついねいに答えている。
- ・クラスメートと積極的にコミュニケーションを取りたい！という気持ちにさせることが難しいと感じた。Speaking+Writing 中心の授業を宮大で担当するのは初めてなので、今後アンケート結果などを参考にして改善に取り組みたい。
- ・評価できる点は、使った教材やテキストが内容的に適切かつ興味深いものであったことである。映画 The Third Man を、毎回、英語(英語字幕つき)で視聴し、スクリプトも渡して、内容把握ができるようにした。これは、学生の関心をひいたようで好評であった。『挑戦する英語』というスピーチ練習用のテキストも内容的に優れていたと思う。反省すべき点は、映画の内容把握をもっぱら小テストに頼り、教師からの説明がないままであることが多かった点である。また、シラバスどおりにおこなったが、授業内容が一定すぎて飽きたという指摘があった。また、模範となるスピーチの暗誦や自己表現の英作文はおこなったが、自由なスピーチの場は与えていないので、今後の課題である。
- ・シラバスに書いた授業範囲を全うできなかった。
- ・「読み」を中心に行なったが、時に「書く」作業も織り込んだ。テキストをその時間に配って、読ませ(時には辞書を使って)、その時間内に応え合わせなどを行なう形式なので。ほとんどの学生が集中して参加していた。内容は学生の興味のあるような問題(これを見つけるのは難しい)あるいは学生たちに知っておいてほしい問題などを選んで、読んでもらった。問題意識を持ってもらいたいがためです。学生の学習意欲の向上を図る点と、学生間の英語能力の差をどう扱うかという点は、いつも頭を悩ます問題です。
- ・There are too many students. It is difficult and unusual to change the syllabus every semester because we can't use the same textbook.
- ・「InputなければOutputなし」をモットーに会話表現場面集を用いて練習を行なった。又、当初から約3分の2程度の回数は、毎回前回学んだ課の中から範囲を指定し、次の授業開始時に20乃至25個の任意の文を選んで暗記確認の小テストを行なった。授業終了後の学生達の英語との関わりの中で活かして貰えることを想定してテキストは選んではいるのだが、教材が日常的で口語表現が豊富に盛り込まれている点で少々一年生には難しいものも含まれていて負荷が大きかった学生も多かったかも知れない。しかし、教育はその場で直ぐに使えるかどうかだけが尺度ではないので、その点は余り問題では内と思う。

#### (5) 保健体育科目

- ・自ら動き、新たな技術を獲得させようと仕向けているが、今年の学生達もねらい通り、自己学習、自己評価を目指して受講していた。
- ・学生意欲のない学生への動機づけに大きな課題が残った。
- ・学内で行う実習について、活動の多様化と雨天時の対応を検討する必要がある。
- ・屋外の種目は天候に左右されるため、満足度を上げるのに苦慮した。(雨天が今年も多かった)
- ・テニスの楽しさを理解し、多くの学生が積極的に授業に取り組んでいると思っている。
- ・パワーポイント講義資料を見直し、学生に理解されやすいように修正を行っている。DVDも利用して工夫をしている。

#### (6) 環境と生命

- ・以上の設問に対する回答は 15 実施される講義のうち、私が担当した 1 コマ分に対する回答です。オムニバス講義で 1-11 の設問に一人で回答せよといわれても無理です。システムの再考をおねがいいただくか、オムニバス講義で代表者が回答されている他の講義のこの入力はどのような基準でなされているのか、情報のフィードバックを御願いたします。
- ・試験方法に問題がある。簡単な課題を学生は選択し、出題教員の大変な負担と成る。毎回のミニレポートと出席点のみで、評価すべきである。最終日の試験は必要ない。
- ・共通教育科目重点配分経費を利用して、ウェブクラス上に本講義のコースを開設し、各教員の講義資料、課題の提示を行った。学生には、ウェブクラスのユーザーとして利用法を周知し、予習や復習への利用を促した。また、担当教員も他の教員の講義資料が見られるようにし、お互いの情報の共有化と講義内容の構造化を図った。

#### (7) 倫理と文化

- ・とにかく、教室が大き過ぎるので、非常に困りました。学生数は40人ですが、169人もの学生用の教室(L302)でした。
- ・授業時に必ず、授業内容のポイント及び感想や質問を記入した受講票の提出を求め、質問事項については次の授業の冒頭に口頭で回答している。反省点としては、授業計画を十分に消化できなかったもので、さらなる内容の精選を行う必要を感じている。
- ・問 6(話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方)について。L215 を使用したが、DVD デッキがなく、共通教育支援室のデッキを借用したが、音がでない、パソコンが写らない、VHS はスクリーンに映らない、テレビは消えている物があるなど毎回トラブル続きであった。国家予算の削減は十分承知しているが、私学の設備との雲泥の差に驚きます。

#### (8) 現代社会の課題

- ・近年の研究動向、近接分野の成果等を取り入れて、内容を現代化した。学生の興味を引けるような問いかけ等に留意し、感想用紙上では一部の学生から積極的な反応を得ることが出来た。内容を充実させた分、予定より進行が遅れ、準備した内容が1回分ほどのこってしまったため、今後、内容の

精選が課題として残った。

- 私の授業は受講者数が多く、最近遅刻や中途退出などが増えている。授業に集中出来ず、また授業に対する態度が出来ていない。数が多いので、いちいち注意したりは出来ない。出席カードに質問や感想を書いてもらっており、授業に対する理解は一応できており、反応も悪くない。FDレポートは毎回同じようなことを書くしかないが、私と学生との意識や考え方は毎年距離が離れていっているように感じる。学生の目線に合わせる必要があるが、なかなか難しくなっている。
- ニュースで取り上げられる内容を授業に反映させ、関心を持たせる工夫をした。第1回目の授業に比べて、最後の授業では、顔を上げて授業を聞く学生は多くなったように思えた。
- 工学部の学生の意欲喚起が年々難しくなっている。専門分野とかけ離れた科目にどうやって興味関心を持たせるかが実に難しい。
- ①イギリスの産業革命から現代まで、多数の絵画、地図、統計を使い系統的に説明した。画像等は昨年より改良できた。②僕は、実家の仕事、京都の伝統産業の京扇子を作り、それに使う開発機械を父親と共に設計し、旋盤や電気溶接を行いながら製作してきた。また、この稼業を引き継いだ弟の前歴(三洋→富士通にエンジニアとして)を見ながら、その後の開発の改善の過程を見てきた。だから、前期の工学部の1年生を前に、工学部卒業学生の将来の職場を念頭に置き、どんな苦労があるのか、どこに喜びがあるのか、常に自問しつつ、彼らの勤労観を鍛えながら、共通教育でたとえ半年でも「経済から見る眼」の重要性を伝えようとした。それは一定意義があったと言える。③分かりやすい授業は安易にレベルの低い授業になりがちである。それが棄損するのは、最も知的関心の高い学生達の意欲である。そこで本年度も、上記②のような論点と結び付け、知的関心を持つ先頭集団を大事にしつつ、そうでない学生をフォローするようにと勤めた。前期試験回答のレベルは高く、結果的に4名が再試験となった。これら4名には何が欠落していたか、丁寧に説明した。
- 講義形式よりグループワーク・ディスカッション形式の方が学生の取り組みに積極性が見られた。今後は、一方通行の講義をなるべく減らし、学生主体のグループワーク・ディスカッション形式の授業形態を増やしていきたい。

#### (9) 自然の仕組み

- 文科系の受講学生が大半を占めていることを意識して、講義の内容を「高校数学の学び直し+ $\alpha$ 」程度のレベルに設定した。知識の難易度はこれでちょうど良かった。また、学生の主体性を発揮できるように、講義の終盤30分は「演習」の時間に充てて知識の復習と理解度の確認を促すようにした。反省点としては、三角関数の取り扱いが怪しい学生がいるにも関わらず、復習なしで講義を進めてしまったことである。数学に嫌悪感を抱いている学生はこの段階で脱落してしまったようである。今年は台風接近のため講義が一度つぶれてしまったことがあった。しかし、補講をする余裕がなかったため中途半端なところで前学期が終了した。
- 4分の1学期制を始めて3年目だが、内容は練り混まれてきたと思う。このレポートは、アンケート集計結果という客観的な数字を見ながら作成したかった。
- 中間試験の実施と不正解の解答についてレポートを課すことを今年から始めたことは学生の学習意欲を維持するのに役立ったと思われる。また、学期末試験の誤答に関しても数学解析Ⅰの授業で正

解を提出させた。

- ・4分の1学期制を始めて3年目だが、内容は練り混まれてきたと思う。このレポートは、アンケート集計結果という客観的な数字を見ながら作成したかった。
- ・中間試験の実施と不正解の解答についてレポートを課すことを今年から始めたことは学生の学習意欲を維持するのに役立ったと思われる。
- ・授業内容の復習になるような演習教材と課題レポートを一通り用意できたこと自体は良かったが、それらを春休み中に準備する時間がとれなかったため、毎回授業直前までそれらの作成で手一杯になってしまい、肝心の授業そのものの準備(構成と時間配分等の検討)をほとんどしないまま授業に臨み、時間配分に失敗することが多かった。教材準備をする時間が前もってほしい(が、昨今の業務多忙の中では無理だろう。)
- ・授業ごとに講義の終わりに、小テストまたは演習を実施したので、講義時間が不足した。そのため説明が不十分となったことが反省点である。ただし、小テストの実施により、学生は真剣に授業を聞くようであり、また、学生の理解度もよく把握することができた。次年度以降も継続していく予定である。
- ・自分で集計してみると、学生理解度に対応(3.35)、知的好奇心(3.41)、教育目標達成(3.24)、授業満足(3.61)であった。2010年度に比べて、評価が若干低下している。ビデオ教材を併用して、学生の興味が増加するように工夫しているが、理解度が高い学生と、低い学生の差が例年以上に大きくなっており、これまで以上に工夫する必要がある。
- ・今年は初めての担当だったので、どの程度のレベルで教えて良いのかよく分からなかった。そこで、最初の授業の時に半期で行う予定の問題のプリントを配布し、解答してもらい、現在のレベルを調査した。これは、学生にとってもこれから行う内容の概略を理解する役に立ったと思う。学生に授業に興味を持ってもらうために半期が終わった段階で今後どのような内容を学びたいかアンケートし、その中で最も多かった内容を講義した。そのため昨年度中に提出していたシラバスとは違う内容の講義となった。具体的には電磁気や電気エネルギーに関する講義を始め計画していたが、アンケートの結果、相対性理論の話となった。板書内容に時々ミスがあったが、学生の質問などによって、訂正することができた。講義室の環境は良かったが、6月の暑く湿度の高い時期には冷房が入るようにしてほしい。

#### (10) 選択教養科目

- ・可能な限り演示実験を通して、理解を促した。
- ・本来は、コンピュータ実習も含めた形の授業が望ましいが、受講者数が多いため、なかなか思うようにはいかない。内容的にも、是非必要な内容であるので、学生が理解ができるような工夫を今後も考えていきたい。
- ・授業は題名通り、「大気・海洋の流れ・波動」を支配する原理について解説したものであり、内容は一貫していたと思う。およそ授業2回ごとに演習問題・研究課題を提示し、レポート提出を求め、解答例についても説明した。しかし、レポートの提出率は5割程度で全く提出しない学生もいた。パワーポイントを利用したが(資料添付)、学生に資料をこまめに点検してもらえなかったようであり、結局、この種の授業ではパワーポイントは効果的でないという結論を得た。

- ・現在の課題として、福島原子力発電所事故の解説と問題点を取り上げた。
- ・DVD 等を用いて興味を持たせるよう努力したが、学生のレベル(理解度)に大きな違いがあり、全体を満足させるような授業を行うことは難しいと感じた。
- ・本科目(医学実験動物学)を、コマ数の割り振りのみの理由で共通教育科目に割り振られていることに対して、非常に違和感を感じます。
- ・最新情報を授業に取り入れた点、映像資料を効果的に利用した点が評価できる。予習・復習がもっとできるようにしていきたい。
- ・この科目は農学部教員11名と農学部附属フィールドセンターの客員教授1名の計12名で担当し、火曜日の午後2コマ分を使いながら2単位しか出さないことから受講生数は限定されている。独自の授業評価の自由コメントを1つ紹介する「私は教育文化学部だったので今回の授業で初めて体験することばかりでした。何もかもが新鮮でとても面白く驚かされるが多かったです。これから先、一生体験することのないようなことを体験できたのでとても貴重な時間を過ごせました。ありがとうございました。今回の体験を通じて自然や農作物に対する考え方が変わりました。実際に体験することによって感じたり理解できることが沢山あるのだとあらためて思いました。
- ・受講登録者は22人だったが、2年生は1人も出席せず、出席者は3年生3人だったため、前年度受講生とボランティアのかたに協力してもらって小学生29名の延岡フィールドでの宿泊による自然観察会を実施した。1年生の受講希望者は毎年いるが、2年次の科目のため受講できない。
- ・学生による授業評価アンケートの自由記述欄で、「卒業してからも役立つ内容で興味深かった」、「出来ることならば、色んな人に受講してもらいたいと思いました。自分も様々な面で考え方が変わったので」という意見は、自分の目指すところでもあり、よかったと思う。
- ・参加型の双方向講義が実施できたと考えられる。復習として15回講義のうち5回レポート提出を課した。学生同士での会話やロールプレイなどコミュニケーション力の充実にも力を注いだ。講義出席率も95%前後と学生は積極的に講義に参加してくれたと実感している。
- ・学生を飽きさせず、生涯にわたって役に立つ本来の教養講義、とくに私の場合、実学たる臨床医学(予防医学も含めて講義している)として、どの学部学科の学生にも、できるだけ対応できるように努力しているつもりである。また、教科書のほか、視覚機器や教材を有効に使って、暑い教室の中で90分間、興味と集中を切らせないよう工夫を重ねている。しかし、いくら教養の範囲と頑張ってみても、医学入門系という特殊な科目上、医学部の新生が比較的多く集まるが、他学部の2年生以上も受講するので、実態はよくわからないが、推定で彼らを感じる講義の印象や評価は様々であることは仕方ないと感じている。
- ・インリーダーを活用した活動づくりを行う中で、参加する学生の意欲・関心が、インリーダーのモチベーションに左右されるため、インリーダーのための事前の打ち合わせ会のようなものが必要。ただし、インリーダーを引き受ける学生の多くは、その力を十分に発揮しており、他の受講生からの評価は高い。
- ・授業開始前には、2年次の学生を対象とし、初級から中級へ、という内容を考えていたが、実際に開講してみると、医学部の1年次学生(未履修)がおり、また、1年次に履修した学生の中でもレベルに差があつて、授業進行はそれなりに困難を伴った。レベルの差があることから、全学生に満足度の高

い授業を行ったとは言い難いが、それぞれのレベルの学生を満足させられるよう、希望者には自習用に追加でプリントを配布したり、検定試験対策用にはCDの貸し出しなども行った。できるだけ工夫をしたことについては自負がある。来年度に向けては、授業対象者をどうするか、という問題がある。つまり、レベルの高い授業を行うためには、毎回テストを行って、あるレベル以下の学生をふるい落とすという方法が考えられる。しかし、これでは学習希望者のやる気をそいでしまうこともあるだろうし、全学的に見てすそ野を広げることにはならない。やる気のある学生により一層やる気を出してもらい、全員で高みを目指す、という方向に持っていきたいと考えている。

- ・去年担当していなかった2年次生を初めて担当することになり、自分で学生のレベルを探りながら授業を進める過程で、前任の先生の意見が反映されたシラバスとの大幅なズレが生じた。今年の1年次生が2年次になればこのような問題はないと思われる。学生のレベルにバラつきが多く、クラスをまとめるのが大変だったため、一部できる学生には物足りない感があったのではないと思う。後期は、このような問題を改善し、もっとイキイキとして授業を目指したい。

【「地域を教材とした共通教育プログラム」に該当する特色ある活動がありましたら、記述ください。】

#### (1) 大学入門セミナー

- ・宮崎を研究対象としていた名誉教授の先生の講義。フィールドセンターや農業博物館の見学。
- ・猪八重溪谷に野外調査に出かけ、水生昆虫やコケ類、植物など、視点を決めた調査を行った。調査したことをレポートにまとめ、発表会を行うことで、地域の自然環境について情報交流し、多面的な理解をはかった。
- ・メディキット県民文化センターにおけるパイプオルガン内部見学。
- ・県内の美術館や博物館などへの見学をはじめ、地元の工芸作家の工房を訪問し取材するなどの活動も行っています。
- ・各学生の出身地について調査させ、その地域の特徴を発表させた。

#### (2) 情報科学入門

- ・宮崎県の農作物の生産量の調査・解析
- ・学生の自己紹介を書かせる際に、地元について、紹介させるようにした。
- ・宮崎の気温、降水量、日射量などのデータをインターネットで収集し、Excelで表作成およびグラフ化するという課題を通して、宮崎地域の気候的な特色を理解させるとともに、その特色を生かした研究例を紹介した。

#### (3) コミュニケーション英語

- ・課題として日本もしくは自分の郷土の文化・偉人・建築物・食などを外国人にアピールするための作文を課した。



#### (4) 倫理と文化

- ・県内の美術館で開かれる展覧会や、郷土出身作家の作品等について紹介するように努めている。

#### (5) 現代社会の課題

- ・地域を取り挙げれば良いという訳ではない。その中に授業が取り挙げるべき普遍的なテーマが貫いていないと意味がない。金谷の場合、1770年の英国産業革命の開始(時期に関する学説に対立あり)から現代に至る市場経済を生き生きと見る眼を育てなければ意味がない。しかし、そうした歴史は、南九州では、例えば島津藩で作られた日本初の西洋式紡績工場建設の歴史であり、どのように留学生がその使命を帯びたか、何人の英国人技師を段階的に採用して行ったか、現在残る数少ない遺産には、尚古集成館にどんなものがあるか、それは現代の工場とどのように異なっているのか。動力原が水力や蒸気力の利用からくるもので、話しは、後日の授業で、石炭から石油への移行、産油国など資源保有国へと結びつき、天然ガスやシェールガスなどへと展開した。その他の論点でも、同様に地域の事例を挙げた。

#### (6) 選択教養科目

- ・県内産業の特性、進学及び就業に伴う県間移動の実態、県別統計データの概要等の紹介
- ・4月12日 農場:野菜の観察と栽培体験。4月19日 住吉牧場:牧場の体験学習。4月26日 木花キャンパスで生き物観察。5月10日 農場:野菜を作って食べてみよう。5月17日 県水産試験場:海の生物観察。5月24日 農場:鉢植え植物を育ててみよう。5月31日 農場:ブルーベリーの鉢植え。6月7日 加江田川河口域で魚類調査。6月14日 農場:田植体験。6月21日 農場:野菜を作って食べてみよう。6月28日 田野演習林:間伐体験。7月5日 田野演習林:下刈り体験。7月12日 木花キャンパス:半年のまとめ。
- ・延岡フィールドでの海の生態系観察実習(宿泊)。附属小学校ビオトープで植物・昆虫・鳥の観察。小学生のための自然体験教室(延岡フィールド、宿泊)。

- ・多くの教員が情熱をもって授業に取り組んでいる。

## 第4章 科目ごとのデータ一覧

以下に平成23年度前学期のすべての共通教育科目(230科目)のうち「学生による授業評価」が提出された196科目のデータを掲載する。

評価は「4:あてはまる。3:ややあてはまる。2:あまりあてはまらない。1:あてはまらない。」の4段階評価である。

また、質問項目は以下の12項目である。

### A:回答者(学生)自身について

- 1 私は75%以上授業に出席した。
- 2 私は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。
- 3 私はこの科目の「達成目標」に到達した。

### B:担当教員の教え方について

- 4 授業はシラバスに沿って行われた。
- 5 授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。
- 6 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。
- 7 重要ポイントが明らかで、説明も分かり易かった。
- 8 学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。
- 9 授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。

### C:その他

- 10 クラスサイズ(受講生数)は適切だった。
- 11 学習環境は適切だった。

### D:総合的な授業評価

- 12 満足できる授業だった。

科目の順番は質問12(満足度)の評価の高い順に並べ直してある。科目名・担当教員名は記載していないが、担当教員には既に当該科目の集計結果を返却してあるので、このデータと照合することによって、自分への評価と他の教員への評価を比較することができる。

【1】大学入門セミナー(28科目)

No.	学部	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	E	4.0	3.7	3.6	3.7	4.0	4.0	3.8	3.8	3.5	4.0	4.0	4.0
2	E	4.0	3.7	3.7	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.5	4.0	4.0
3	A	3.9	3.8	3.6	3.9	3.8	3.9	3.8	3.7	3.6	3.8	3.8	3.9
4	A	4.0	3.9	3.7	3.5	3.9	4.0	3.9	3.9	3.8	3.9	4.0	3.9
5	E	4.0	3.8	3.7	3.9	3.8	3.9	3.9	3.9	3.6	4.0	3.9	3.9
6	A	3.9	3.6	3.2	3.5	3.7	3.7	3.5	3.6	3.0	3.9	3.9	3.8
7	E	4.0	3.9	3.8	3.9	3.8	3.9	3.7	3.8	3.7	3.9	3.9	3.8
8	E	3.9	3.4	3.4	3.4	3.8	3.9	3.7	3.5	3.5	3.8	3.7	3.8
9	E	3.9	3.4	3.5	3.8	3.8	4.0	4.0	3.6	3.6	3.8	3.8	3.8
10	A	3.9	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8	3.6	3.6	3.2	3.9	3.8	3.7
11	E	3.9	3.7	3.7	3.8	3.7	3.6	3.5	3.6	3.7	3.9	2.7	3.7
12	E	3.9	3.7	3.5	3.5	3.6	3.5	3.2	3.5	3.4	4.0	3.9	3.7
13	E	4.0	3.7	3.5	3.8	3.7	3.4	3.2	3.0	3.7	4.0	4.0	3.7
14	T	3.9	3.7	3.5	3.7	3.7	3.8	3.6	3.6	3.4	3.6	3.6	3.7
15	N	3.9	3.7	3.7	3.8	3.8	3.7	3.6	3.6	3.4	3.8	3.8	3.7
16	A	3.9	3.8	3.5	3.6	3.7	3.6	3.4	3.5	3.2	3.9	3.9	3.6
17	E	3.9	3.7	3.3	3.5	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.7	3.6	3.5
18	E	3.9	3.6	2.7	3.8	3.6	3.4	3.5	3.4	3.2	3.9	3.7	3.5
19	T	3.9	3.7	3.4	3.7	3.5	3.4	3.3	3.1	3.3	3.7	3.6	3.5
20	T	3.9	3.7	3.6	3.7	3.5	3.5	3.4	3.5	3.4	3.5	3.4	3.5
21	E	4.0	3.5	3.2	3.6	3.7	3.3	3.3	3.2	3.4	4.0	4.0	3.3
22	T	3.9	3.5	3.3	3.6	3.5	3.5	3.4	3.2	3.3	3.5	3.4	3.3
23	T	3.7	3.4	3.2	3.5	3.5	3.4	3.3	3.2	3.2	3.5	3.6	3.3
24	T	3.8	3.5	3.3	3.5	3.3	3.2	3.0	3.0	3.1	3.4	3.5	3.1

※4科目が未提出。

【2】情報科学入門(19科目)

No.	学部	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	E	4.0	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.9	3.9	3.9
2	A	4.0	3.9	3.8	3.9	3.8	3.9	3.9	3.8	3.7	3.9	3.9	3.8
3	A	4.0	3.8	3.6	3.9	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.9	3.9	3.8
4	E	3.9	3.6	3.4	3.7	3.7	3.6	3.6	3.4	3.5	3.6	3.7	3.7
5	A	3.8	3.7	3.6	3.7	3.7	3.6	3.5	3.5	3.4	3.7	3.7	3.6
6	E	3.9	3.4	3.5	3.7	3.6	3.5	3.5	3.3	3.5	3.6	3.7	3.6
7	E	3.9	3.7	3.7	3.8	3.7	3.8	3.6	3.6	3.5	3.7	3.8	3.6
8	A	3.9	3.8	3.5	3.7	3.4	3.5	3.3	3.4	3.4	3.8	3.6	3.5
9	T	3.8	3.6	3.6	3.6	3.4	3.3	3.4	3.3	3.1	3.6	3.5	3.5
10	T	3.8	3.7	3.3	3.7	3.3	3.3	3.2	3.4	3.3	3.7	3.7	3.5
11	N	3.9	3.6	3.4	3.6	3.2	3.4	3.2	3.3	3.4	3.7	3.7	3.5
12	A	3.9	3.6	3.4	3.5	3.4	3.4	3.2	3.2	3.3	3.7	3.7	3.4
13	T	3.9	3.5	3.4	3.6	3.1	3.2	3.1	3.2	3.1	3.7	3.4	3.4
14	T	3.9	3.8	3.6	3.7	3.3	3.4	3.0	3.0	3.2	3.7	3.6	3.4
15	E	3.9	3.5	3.2	3.5	3.4	3.5	3.4	3.1	3.1	3.5	3.3	3.3
16	T	3.9	3.7	3.5	3.5	3.2	3.3	3.0	3.0	3.3	3.7	3.8	3.3
17	T	3.9	3.7	3.5	3.5	3.2	3.2	3.2	3.2	3.3	3.5	3.5	3.2
18	T	3.9	3.5	3.2	3.4	3.0	3.1	2.9	3.0	3.0	3.5	3.5	3.1

※1科目が未提出。

【3】英語(26科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	4.0	3.8	3.5	3.8	3.6	3.8	3.7	3.5	3.4	3.9	3.8	3.7
2	4.0	3.4	3.3	3.3	3.6	3.6	3.5	3.6	3.3	3.8	3.8	3.7
3	3.8	3.8	3.7	3.7	3.9	3.8	3.8	3.6	3.6	3.9	3.9	3.7
4	3.8	3.7	3.3	3.7	3.7	3.7	3.8	3.5	3.3	3.7	3.7	3.7
5	3.8	3.6	3.1	2.7	3.5	3.6	3.6	3.6	3.7	3.7	3.7	3.7
6	3.9	3.7	3.7	3.8	3.7	3.7	3.7	3.4	3.7	3.8	3.7	3.6
7	3.9	3.7	3.6	3.8	3.6	3.6	3.5	3.3	3.6	3.7	3.7	3.6
8	3.9	3.6	3.1	3.7	3.5	3.7	3.5	3.4	3.6	3.8	3.7	3.6
9	3.9	3.7	3.0	3.6	3.4	3.6	3.4	3.2	3.4	3.8	3.8	3.6
10	3.9	3.6	3.4	3.7	3.5	3.6	3.6	3.4	3.5	3.8	3.6	3.6
11	3.8	3.5	3.1	3.7	3.4	3.6	3.5	3.4	3.3	3.7	3.7	3.6
12	3.9	3.7	3.7	3.9	3.8	3.7	3.5	3.3	3.6	3.8	3.7	3.5
13	3.8	3.5	3.3	3.4	3.4	3.3	3.3	3.2	3.4	3.7	3.7	3.5
14	3.9	3.4	2.8	3.8	3.4	3.7	3.6	3.4	3.6	3.9	3.7	3.5
15	3.8	3.6	3.5	3.6	3.5	3.5	3.4	3.2	3.4	3.6	3.6	3.4
16	3.8	3.5	3.4	3.7	3.5	3.5	3.3	3.2	3.4	3.7	3.6	3.4
17	3.9	3.2	2.7	3.8	3.5	3.6	3.6	3.2	3.6	3.7	3.7	3.4
18	3.9	3.6	3.4	3.8	3.5	3.5	3.2	3.0	3.3	3.7	3.6	3.3
19	3.9	3.5	3.1	3.1	3.2	3.3	3.1	3.2	3.0	3.7	3.7	3.3
20	3.8	3.5	3.1	3.5	3.3	3.3	3.3	3.1	3.5	3.7	3.7	3.3
21	3.9	3.3	3.2	3.7	3.3	3.1	3.2	2.9	3.2	3.6	3.4	3.1
22	3.9	3.2	2.8	3.7	3.4	3.4	3.2	2.8	3.6	3.7	3.8	3.1
23	3.8	3.2	3.1	3.8	3.4	3.5	3.4	2.8	3.1	3.7	3.6	3.1
24	3.8	3.3	2.8	3.6	3.3	3.3	3.0	2.8	3.3	3.6	3.5	3.0
25	3.6	2.9	2.8	3.6	3.0	3.2	3.1	2.7	3.0	3.6	3.5	2.9

※1科目が未提出。

【4】コミュニケーション英語(35科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	4.0	3.7	3.4	3.7	3.9	3.9	3.7	3.9	3.5	4.0	3.9	3.9
2	4.0	3.8	3.6	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.4	3.9	3.9	3.9
3	3.9	3.7	3.3	3.8	3.8	3.8	3.7	3.5	3.8	3.8	3.7	3.8
4	3.9	3.8	3.2	4.0	3.8	3.9	3.7	3.8	3.1	3.9	3.8	3.8
5	3.9	3.7	3.3	3.6	3.7	3.7	3.5	3.8	3.5	3.9	3.9	3.8
6	4.0	3.7	3.3	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8	3.1	3.9	3.7	3.8
7	4.0	3.7	3.4	3.6	3.7	3.7	3.8	3.8	3.6	3.4	3.8	3.8
8	4.0	3.8	3.3	3.7	3.7	3.6	3.6	3.7	3.6	3.8	3.9	3.8
9	3.9	3.7	3.4	3.9	3.7	3.8	3.8	3.8	3.5	3.8	3.9	3.8
10	4.0	3.8	3.6	3.9	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8	3.6	3.8
11	3.9	3.4	2.9	3.5	3.7	3.5	3.6	3.5	3.2	3.6	3.5	3.7
12	4.0	3.6	3.1	3.7	3.6	3.7	3.6	3.6	3.8	3.8	3.7	3.7
13	3.9	3.5	3.2	3.5	3.6	3.6	3.5	3.5	3.1	3.8	3.8	3.7
14	3.9	3.6	3.2	3.6	3.5	3.6	3.6	3.5	3.3	3.6	3.5	3.7
15	4.0	3.7	3.2	3.8	3.7	3.9	3.7	3.5	3.5	3.8	3.8	3.7
16	4.0	3.6	3.4	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	3.5	3.9	3.8	3.7
17	4.0	3.7	3.3	3.8	3.7	3.5	3.6	3.7	3.5	3.9	3.9	3.7
18	4.0	3.4	3.4	3.6	3.6	3.6	3.7	3.6	3.4	2.6	3.6	3.6
19	3.9	3.7	3.5	3.7	3.6	3.6	3.4	3.4	3.6	3.6	3.8	3.6
20	3.9	3.5	2.8	3.7	3.7	3.7	3.7	3.5	3.7	3.8	3.8	3.6
21	3.9	3.3	3.0	3.6	3.6	3.7	3.7	3.3	3.5	3.7	3.7	3.6
22	3.9	3.5	3.3	3.6	3.6	3.5	3.6	3.5	3.4	3.6	3.7	3.6
23	4.0	3.0	2.8	4.0	3.4	3.6	3.5	3.2	3.3	3.8	3.7	3.5
24	3.9	3.5	3.0	3.7	3.6	3.7	3.5	3.3	3.5	3.8	3.7	3.5
25	3.9	3.4	3.1	3.8	3.7	3.4	3.4	3.3	3.5	3.7	3.7	3.5
26	3.9	3.5	3.0	3.6	3.5	3.6	3.2	3.3	3.6	3.7	3.7	3.5
27	4.0	3.5	2.8	3.6	3.3	3.5	3.2	3.2	3.4	3.7	3.8	3.4
28	3.8	2.9	3.0	3.8	3.6	3.7	3.4	3.0	3.5	3.7	3.6	3.4
29	3.9	3.4	3.3	3.5	3.5	3.4	3.2	3.2	3.3	3.6	3.7	3.3
30	4.0	3.3	2.7	3.6	3.3	3.4	3.2	3.0	3.4	3.7	3.5	3.2
31	3.9	3.3	3.0	3.5	3.2	3.3	3.1	3.1	3.1	3.6	3.5	3.2
32	4.0	3.2	2.8	3.4	3.2	2.8	2.8	2.6	3.3	3.7	3.7	3.1
33	3.9	3.0	2.8	3.4	3.5	3.2	3.2	3.0	3.1	3.6	3.6	3.1
34	3.9	2.8	2.7	3.2	3.1	2.9	2.8	2.6	3.2	3.6	3.0	3.0

※1科目が未提出。

【5】保健体育科目(23科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.9	3.6	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	3.5	3.8	3.8	3.9
2	4.0	3.8	3.6	3.7	3.8	3.7	3.7	3.8	3.6	3.9	3.3	3.9
3	3.9	3.8	3.7	3.9	3.8	3.7	3.8	3.9	3.7	3.8	3.8	3.9
4	3.9	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.9	3.9	3.8	3.9	3.8	3.9
5	4.0	3.8	3.6	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.4	3.7	3.6	3.8
6	3.9	3.8	3.7	3.8	3.8	3.7	3.6	3.4	3.0	3.7	3.7	3.8
7	4.0	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.7	3.6	3.6	3.7	3.4	3.8
8	3.9	3.7	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6	3.5	3.0	3.7	3.4	3.7
9	3.9	3.7	3.4	3.7	3.8	3.9	3.8	3.8	3.5	3.9	3.8	3.7
10	3.9	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	3.6	3.7	3.4	3.3	3.4	3.7
11	3.8	3.7	3.7	3.8	3.8	3.6	3.7	3.8	3.5	3.5	3.0	3.7
12	4.0	3.8	3.6	3.8	3.7	3.8	3.8	3.7	3.6	3.7	3.7	3.7
13	3.9	3.7	3.6	3.8	3.8	3.7	3.7	3.6	3.5	3.8	3.7	3.7
14	4.0	3.6	3.3	3.6	3.5	3.7	3.6	3.4	3.0	3.6	3.5	3.6
15	3.9	3.6	3.5	3.6	3.6	3.5	3.4	3.4	3.1	3.6	3.5	3.6
16	3.8	3.6	3.5	3.7	3.4	3.6	3.5	3.4	3.0	3.4	3.5	3.5
17	2.9	3.4	3.4	2.8	3.3	3.4	3.3	3.2	2.7	3.5	3.5	3.4

※6科目が未提出。

【6】主題教養科目(環境と生命)(8科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.7	3.5	3.7	3.7	3.8	3.8	3.7	3.4	3.8	3.7	3.8
2	3.8	3.6	3.5	3.7	3.3	3.4	3.4	3.4	3.1	3.7	3.6	3.5
3	3.8	3.5	3.5	3.6	3.4	3.5	3.4	3.4	3.2	3.4	3.5	3.4
4	3.9	3.4	3.2	3.7	3.3	3.3	3.2	3.3	2.8	3.4	3.5	3.4
5	3.9	3.5	3.4	3.7	3.4	3.4	3.3	3.4	3.0	3.4	3.4	3.4
6	3.8	3.2	3.1	3.6	3.1	3.3	3.2	3.1	2.9	3.5	3.5	3.2
7	3.9	3.2	3.1	3.5	3.0	3.1	2.9	3.1	2.6	3.1	3.1	3.0

※1科目が未提出。

【7】主題教養科目(倫理と文化)(15科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.5	3.5	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.6	3.9	3.8	3.8
2	3.9	3.5	3.3	3.6	3.6	3.6	3.6	3.5	3.1	3.3	3.5	3.6
3	3.9	3.5	3.3	3.6	3.6	3.6	3.5	3.5	3.4	3.7	3.7	3.6
4	4.0	3.3	3.3	3.6	3.5	3.8	3.6	3.5	3.2	3.7	3.7	3.6
5	3.9	3.5	3.5	3.8	3.5	3.5	3.4	3.4	3.1	3.5	3.5	3.6
6	3.9	3.6	3.5	3.6	3.5	3.6	3.5	3.5	3.3	3.6	3.5	3.6
7	3.8	3.3	3.4	3.5	3.2	3.1	3.0	3.1	3.1	3.6	3.6	3.4
8	3.8	3.1	3.0	3.4	3.4	3.2	3.0	3.1	2.9	3.6	3.5	3.3
9	3.9	3.6	3.5	3.4	3.4	3.3	3.3	3.1	3.1	3.7	3.7	3.2
10	3.8	3.4	3.3	3.5	3.2	3.2	3.2	3.1	3.0	3.4	3.5	3.2
11	3.8	2.6	2.6	2.9	2.5	2.4	2.2	2.4	2.0	3.3	3.4	2.6

※4科目が未提出。



【8】主題教養科目(現代社会の課題)(11科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.6	3.3	3.3	3.8	3.7	3.7	3.6	3.3	3.2	3.8	3.7	3.7
2	3.8	3.5	3.4	3.7	3.7	3.4	3.4	3.4	3.0	3.5	3.5	3.5
3	3.9	3.4	3.3	3.6	3.5	3.3	3.1	3.2	3.1	3.7	3.7	3.4
4	3.8	3.4	3.2	3.6	3.5	3.6	3.3	3.3	3.1	3.5	3.5	3.4
5	3.8	3.2	3.1	3.4	3.2	3.3	3.2	3.2	2.8	3.4	3.4	3.2
6	3.9	3.4	3.1	3.3	3.1	3.1	3.0	3.0	3.2	3.4	3.5	3.1
7	3.7	3.1	3.0	3.2	3.4	3.2	3.2	3.2	2.6	3.5	3.5	3.1

※4科目が未提出。

【9】主題教養科目(自然の仕組み)(21科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.6	3.6	3.8	3.8	3.7	3.8	3.7	3.5	3.8	3.8	3.8
2	3.8	3.6	3.4	3.7	3.9	3.9	3.9	3.6	3.7	3.7	3.5	3.8
3	3.9	3.7	3.4	3.8	3.6	3.8	3.7	3.7	3.5	3.6	3.7	3.7
4	2.9	3.5	3.0	2.9	2.8	3.6	3.5	3.3	3.6	3.4	3.6	3.5
5	3.9	3.6	3.2	3.8	3.4	3.5	3.4	3.4	3.5	3.6	3.7	3.5
6	3.8	3.4	3.3	3.5	3.6	3.6	3.4	3.2	3.0	3.7	3.6	3.5
7	3.9	3.4	3.2	3.6	3.3	3.4	3.4	3.5	3.2	3.5	3.7	3.5
8	3.9	3.5	3.4	3.7	3.4	3.6	3.3	3.3	3.1	3.8	3.6	3.4
9	2.9	3.1	3.0	2.8	2.8	3.4	3.3	3.3	3.4	3.4	3.5	3.4
10	3.8	3.2	3.1	3.7	3.5	3.5	3.3	3.1	3.6	3.7	3.7	3.4
11	2.9	3.3	2.8	2.8	2.5	3.4	3.1	3.1	3.4	3.6	3.6	3.3
12	3.9	3.7	3.3	3.4	3.3	3.3	3.3	3.1	3.1	3.7	3.5	3.3
13	3.1	3.5	3.0	2.8	2.6	3.3	3.1	2.8	3.5	3.4	3.5	3.2
14	3.8	3.2	3.2	3.5	3.4	3.2	3.1	3.0	3.1	3.2	3.4	3.2
15	3.9	3.5	3.3	3.6	3.2	3.1	3.2	3.1	3.1	3.5	3.6	3.2
16	2.9	3.4	3.0	2.8	2.7	3.1	3.0	2.9	3.5	3.4	3.5	3.1
17	3.8	3.6	3.3	3.5	3.2	2.9	3.0	2.9	3.0	3.3	3.4	3.1
18	3.8	3.5	3.1	3.4	3.0	2.8	2.8	2.6	3.1	3.2	3.1	3.0
19	3.9	3.2	3.1	3.4	3.0	2.6	2.6	2.6	2.9	3.5	3.4	2.9
20	3.9	3.3	2.8	3.2	2.6	2.7	2.6	2.6	2.5	3.4	3.4	2.7

※1科目が未提出。

【10】選択教養科目(文化・社会系)(10科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.5	3.3	3.6	3.6	3.0	3.4	3.4	3.2	3.4	3.3	3.5
2	3.8	3.4	3.2	3.5	3.3	3.3	3.1	3.1	2.8	3.4	3.6	3.4
3	3.8	3.4	3.3	3.5	3.5	3.4	3.2	3.2	2.9	3.7	3.6	3.4
4	3.7	3.4	3.3	3.5	3.5	3.4	3.3	3.3	3.0	3.5	3.6	3.3
5	3.8	3.4	3.2	3.4	3.3	3.2	3.0	3.2	2.8	3.1	3.3	3.3
6	3.8	3.4	3.0	3.5	3.1	3.0	2.9	2.9	3.2	3.5	3.6	3.1
7	3.9	3.1	2.7	3.3	2.5	2.7	2.5	2.6	2.7	3.2	3.4	2.8

※3科目が未提出。

【11】選択教養科目(科学・技術系)(8科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.3	2.9	3.5	3.4	3.0	3.0	2.9	3.0	3.4	3.5	3.4
2	3.8	3.1	3.1	3.6	3.5	3.6	3.5	3.3	3.3	3.5	3.6	3.4
3	3.8	3.2	3.0	3.6	3.4	3.2	3.2	3.2	3.1	3.6	3.5	3.3
4	3.9	3.1	3.1	3.5	3.3	3.3	3.2	3.0	2.8	3.4	3.4	3.3
5	3.8	2.4	2.1	3.0	1.6	2.3	1.7	1.8	2.4	3.3	3.2	1.9

※3科目が未提出。

【12】選択教養科目(生命科学系)(5科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.6	3.2	3.6	3.4	3.6	3.6	3.6	3.1	3.7	3.7	3.6
2	3.8	3.5	3.4	3.5	3.6	3.6	3.5	3.6	3.0	3.4	3.5	3.6
3	3.9	3.4	3.3	3.6	3.7	3.5	3.4	3.3	3.2	3.7	3.5	3.4
4	3.6	3.3	2.7	3.5	3.2	3.6	3.2	3.5	3.0	3.2	3.5	3.2
5	3.9	3.4	3.1	3.5	3.0	3.2	2.9	3.0	2.7	3.5	3.5	3.2

※未提出の科目はない。

【13】選択教養科目(複合・学際系)(3科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.9	3.8	3.9	3.9	3.8	3.7	3.8	2.9	3.9	3.9	4.0
2	4.0	4.0	3.6	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.3	2.6	4.0	4.0
3	3.8	3.3	3.2	3.6	3.5	3.5	3.5	3.4	3.0	3.6	3.6	3.4

※未提出の科目はない。

【14】選択教養科目(キャリア・生涯学習系)(5科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.9	3.8	3.8	3.7	3.8	3.6	3.7	3.6	3.8	3.9	3.9
2	3.8	3.5	3.2	3.6	3.5	3.5	3.5	3.7	2.9	3.8	3.7	3.7
3	3.8	3.4	3.4	3.7	3.8	3.6	3.6	3.5	3.1	3.6	3.7	3.6

※2科目が未提出。

【15】選択教養科目(外国語系)(8科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	4.0	3.9	3.5	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8	3.7	3.9	3.8	3.9
2	4.0	3.8	3.5	3.8	4.0	4.0	3.9	4.0	3.8	4.0	3.7	3.9
3	3.9	4.0	3.6	3.8	4.0	4.0	3.9	3.9	3.7	4.0	3.8	3.9
4	4.0	3.8	3.3	3.8	3.5	3.5	3.5	3.3	3.8	3.3	3.6	3.6
5	3.9	3.6	2.7	3.5	3.4	3.7	3.3	3.4	3.0	4.0	4.0	3.4
6	4.0	3.5	2.5	3.2	3.4	3.6	3.6	3.2	3.6	3.9	3.6	3.4
7	3.9	3.3	2.6	3.1	2.4	2.8	2.7	2.6	2.9	2.9	3.3	2.8

※1科目が未提出。

【16】選択教養科目(日本語・日本事情)(5科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.8	3.7	3.6	3.6	3.8	3.7	3.8	3.7	3.7	3.7	3.8	4.0
2	3.9	4.0	3.8	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9
3	4.0	3.7	3.8	4.0	3.9	4.0	3.9	4.0	3.7	3.9	3.6	3.8

※2科目が未提出。

## Ⅱ 平成 23 年度後学期

## 第5章 実施の記録

平成 23 年度後学期の共通教育科目に関する「学生による授業評価」及び「教員の FD 活動レポート」は次のように実施された。

実施時期	平成24年(2012年)1月下旬～2月上旬の授業期間中。
対象科目	すべての共通教育科目(196科目)。
実施方法	実務は学生支援部共通教育支援室と教育・学生支援センター(武方壮一准教授)が担当し、各科目の登録学生数に応じた枚数の調査票をあらかじめ用意し各教員に配布した。各教員は授業時間内に学生に調査票を配布して調査を実施し、ただちに回収した。その後、教育・学生支援センター(同上)が集計作業を行った。
回収率	85%(196科目中, 167科目を回収した。)
返却	各教員には調査票の現物とともに「結果報告書」を返却した。
FD活動レポート	FD活動レポートは、前回同様に常勤教員は原則Web入力によった。非常勤教員に関しては従来通りに所定用紙を配布し、記入の後、学生用調査票とともに提出して貰った。その後、「学生による授業評価」アンケートと同様に教育・学生支援センター(武方壮一准教授)が集計作業を行った。 提出率は64%(196科目中, 125科目分のFD活動レポートが提出された。)
報告	すべての科目の集計結果(生データ)は共通教育部自己点検・評価委員会に報告され、報告書は当該報告に基づき同委員会報告書作成WGが作成した。 更に、報告書は同委員会に上程され、最終的に了承された。

※調査票・結果報告書・FD活動レポートの現物は第1章に掲載してある。

## 第6章 学生による授業評価について

### 【1】全科目の平均

後学期のすべての共通教育科目(全196科目のうち回収された167科目)について、質問項目ごとに評価点の平均を計算すると次の通りである。(小数第2位以下は四捨五入した。)

質問項目	学生自身			教員の教え方など						学習環境		総合
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
全科目の平均	3.8	3.5	3.3	3.6	3.5	3.5	3.5	3.4	3.4	3.7	3.7	3.5

評価は「4:あてはまる。3:ややあてはまる。2:あまりあてはまらない。1:あてはまらない。」の4段階で行われている。

上の表をグラフにすると右の通りである。横軸は質問項目を、縦軸は評価点の平均を示している。

質問は以下の12項目である。

#### A:回答者(学生)自身について

- 1 私は75%以上授業に出席した。
- 2 私は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。
- 3 私はこの科目の「達成目標」に到達した。

#### B:担当教員の教え方について

- 4 授業はシラバスに沿って行われた。
- 5 授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。
- 6 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。
- 7 重要ポイントが明らかで、説明も分かり易かった。
- 8 学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。
- 9 授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。

#### C:その他

- 10 クラスサイズ(受講生数)は適切だった。
- 11 学習環境は適切だった。

#### D:総合的な授業評価

- 12 この授業は満足できるものだった。

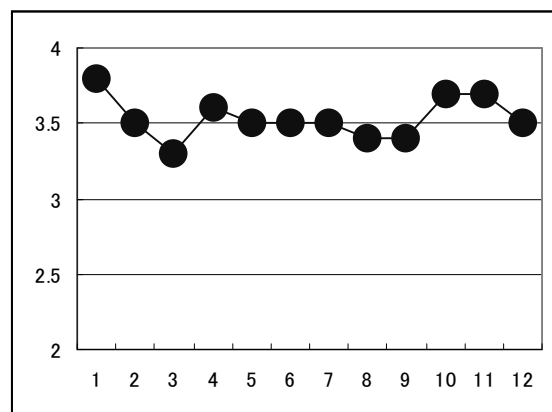


図 質問項目ごとの全科目の平均  
(※縦軸の評価2未満の目盛は省いた。)



## 【2】科目群ごとの分析

共通教育科目を15の科目群に分類した場合の評価点の平均は次の通りである。また、「初修外国語」は通年の評価である。

太字の値は「全科目平均」と比べて0.2ポイント以上高いことを、他方、網掛けの値は「全科目平均」と比べて0.2ポイント以上低いことを示している。

質問項目		学生自身			教員の教え方など						学習環境		総合
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
全科目平均		3.8	3.5	3.3	3.6	3.5	3.5	3.5	3.4	3.4	3.7	3.7	3.5
大学 教育 基礎 科目	(1)情報科学入門	3.7	3.6	3.4	3.7	3.5	<b>3.7</b>	3.6	3.5	3.5	3.7	3.7	3.6
	(2)英語	3.8	3.4	3.2	3.7	3.5	3.5	3.4	<b>3.2</b>	3.4	3.7	3.6	3.4
	(3)コミュニケーション英語	3.9	3.6	3.3	3.7	3.6	3.6	3.6	3.5	3.5	3.8	3.7	3.6
	(4)初修外国語	3.8	3.5	3.3	3.6	3.5	3.5	3.5	3.3	3.5	3.7	3.7	3.5
	(5)保健体育科目	3.9	<b>3.8</b>	<b>3.6</b>	<b>3.8</b>	<b>3.7</b>	<b>3.7</b>	<b>3.7</b>	<b>3.7</b>	3.4	3.7	3.7	<b>3.7</b>
主題 教養 科目	(6)環境と生命	3.8	3.5	3.4	3.7	3.4	3.5	3.4	3.4	3.1	3.6	3.6	3.5
	(7)倫理と文化	3.8	3.4	3.3	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	<b>3.2</b>	<b>3.5</b>	3.6	3.5
	(8)現代社会の課題	3.8	3.5	3.3	3.6	3.4	3.4	3.4	3.4	<b>3.2</b>	3.6	3.7	3.5
	(9)自然の仕組み	3.9	3.4	3.2	3.6	3.1	3.3	3.1	3.1	3.1	3.6	3.7	<b>3.3</b>
選択 教養 科目	(10)文化・社会系	3.6	3.2	3.0	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3	2.9	3.6	<b>3.5</b>	3.4
	(11)科学・技術系	3.7	3.3	3.3	3.6	3.4	3.5	3.3	3.3	3.0	<b>3.5</b>	3.6	3.6
	(12)生命科学系	3.8	3.3	3.3	3.7	3.4	3.4	3.2	3.4	3.1	3.7	3.6	3.5
	(13)複合・学際系	3.8	<b>3.7</b>	<b>3.7</b>	3.7	<b>3.8</b>	<b>3.7</b>	<b>3.7</b>	<b>3.8</b>	3.3	3.8	3.8	<b>3.8</b>
	(14)キャリア・生涯学習系	3.9	<b>3.7</b>	<b>3.6</b>	3.7	<b>3.7</b>	<b>3.7</b>	3.6	<b>3.7</b>	3.3	<b>3.5</b>	3.6	<b>3.7</b>
	(15)外国語系	3.9	3.6	3.0	3.5	3.6	<b>3.7</b>	<b>3.7</b>	<b>3.6</b>	<b>3.6</b>	3.7	3.8	<b>3.7</b>

- ・ 「保健体育科目」, 「複合・学際系」, 「キャリア・生涯学習系」が, 全科目平均より高い評価の項目が多い。

## 第7章 教員によるFD活動レポートについて

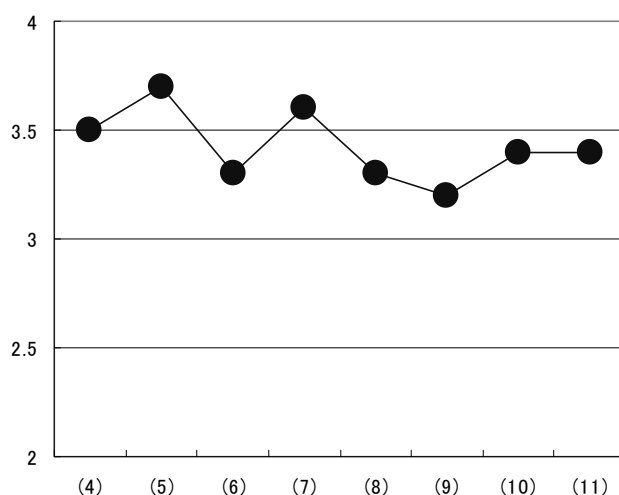
教員自身が自分の教育活動をどのように評価しているかを見ていこう。(なお、FD活動レポートの質問項目は p. 5 参照。)

### 【1】教育活動について

以下の設問への回答は「4:あてはまる, 3:ややあてはまる, 2:あまりあてはまらない, 1:あてはまらない」の4段階で行われている。回答の平均値を( )の中に示した。

- |                                       |       |
|---------------------------------------|-------|
| (4) シラバスに沿って授業を行えた。                   | (3.5) |
| (5) 学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。      | (3.7) |
| (6) 話し方, 板書の仕方, 機器又は器具の使い方, 等が適切だった。  | (3.3) |
| (7) 重要ポイントを明示し, 分かり易く説明した。            | (3.6) |
| (8) 学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。 | (3.3) |
| (9) 授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。        | (3.2) |
| (10) 総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。          | (3.4) |
| (11) シラバスに掲げた当初の授業目標(ねらい)は達成された。      | (3.4) |

グラフにすると次のとおりである。



これらの平均値を見ると、「学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整する」という項目の達成度が高く、他方、「予習・復習或いは発展学習を課した」という項目の達成度が低いことが分かる。

## 【2】教員のFD活動の状況

(12) この授業科目に関してこの1年間に取り組んだFD活動を選んでください。(複数回答可)

他教員の授業参観 ..... 25 人

学内外のFD講演会等への参加 ..... 51 人

他大学のFD活動の視察 ..... 2 人

その他(自由記述)

- FD 懇談会の司会
- FD 報告書を読んだ
- 英語学会への参加
- 学会への参加
- 学生に授業の後, 進め方等について意見を聞いた。
- 技術解説ビデオの分析
- 教科書作成
- 自主教材の充実
- 自身の技術向上のための練習
- 授業内容開発
- 初心者を対象としたテニス指導法の研究
- 他の教員との授業についての意見交換
- 他の語学の教育実習を見る機会が多数あったので, この授業のために大いに役立った。
- 他の語学の教育実習を見学する機会が数多くあり参考になった。
- 他教員との FD 活動の情報交換
- 大学一般(共通)教育としての「宇宙地球科学」の内容としてどのような内容がふさわしいか, 大学教員の著作を参照しつつ, 検討した。

(13) 今後取り組もうと考えているFD活動を選んでください。(複数回答可)

他教員の授業参観 ..... 52 人

学内外のFD講演会等への参加 ..... 56 人

他大学のFD活動の視察 ..... 7 人

その他(自由記述)

- FD 関連資料の閲覧
- 他の教員との授業についての意見交換
- 学会への参加
- 技術獲得へのつまずきの原因究明
- 講義内容の記した配付資料の修正
- 授業内容開発

- ・初心者指導法を深化する
- ・他教員とのFD活動の情報交換

### 【3】「コミュニケーション能力の育成」について

(16) 授業の中で「コミュニケーション能力の育成」を考慮した内容が含まれていますか。

- はい ..... 93 人  
 いいえ ..... 19 人

(17) 下記のどの点を重視しましたか。(複数回答可)

- 聞いて理解する ..... 54 人  
 読んで理解する ..... 46 人  
 自分の考えをまとめて話す ..... 35 人  
 自分の考えを文章にまとめる ..... 25 人

(18) 「コミュニケーション能力の育成」に関して具体的な取り組みがありましたら記述してください。

- ・英語を正しく英語らしく発音する。
- ・外国語で自分のことを簡単に紹介できる。
- ・外国語によるコミュニケーション能力の育成
- ・グループで共同作業を行う。
- ・グループで練習内容を話し合っている。
- ・チーム内でミーティングを行う。
- ・ペアによる会話練習→聞いて話す力

### 【4】「地域を教材とする共通教育プログラム」について

(19) 授業の中で「地域(宮崎)を教材とする」内容が含まれていますか。

- はい ..... 17 人  
 いいえ ..... 83 人

(20) 講義中で取り上げるおよその回数を選んでください。

- 1 回～5 回 ..... 11 人  
 6 回～10 回 ..... 2 人  
 11 回～15 回 ..... 3 人

(21) 「地域」のどのような分野を取り上げていますか。(複数回答可)

歴史・文化…………… 10 人

政治・経済・産業…………… 6 人

自然環境・フィールド体験…………… 6 人

その他(自由記述)

・N-KID'S エクササイズの実施

## 【5】教員の声(FD レポートの自由記述欄)

【自分の授業の評価できる点や反省すべき点、或いは、このFD活動レポートに関して特記すべき点があれば書いてください。】

### (1) 英語

・ミヒヤエル・エンデの『モモ』の英訳本をテキストにして、英語の精読を授業で行った。精読することで、各学生の英語読解力の程度を確認しつつ、必要があれば文法の説明を行った。これにより、詳細な読解力がついたと思われるが、一方で、物語を読むスピードは遅い。これを補うために、自宅学習をうながし、各自がなるべく学期の終わりまでには、最後まで内容を読み取ってくるように促した。これに関連して、全体から最も気に入った英文(7行程度)の暗誦と、最も気に入った場面についての感想の発表を毎時の授業で5名ずつ行ってもらった。最後に期末レポートとして、感想をまとめてもらった。このほかに、英語記事の要約レポートを課すことで、物語以外の英文にふれる機会も設けた。反省点は、一回の授業ですすめる精読の量が非常に限られてしまったことである。しかし、精読をしないと正確な読解力が見つからないので、やむを得なかったとおもう。よかった点は、テキストそのものの内容が深く、多くの学生がそのことに気付くような読み方ができたことである。

### (2) コミュニケーション英語

- ・I enjoyed teaching this class very much.
- ・There are too students in Communication class. But I do my best to teach each student. It is very difficult to change syllabus every semester. It we have to change textbooks we have to change syllabus. But I always do my best.
- ・授業の後、学生の質問に毎回答えた。
- ・板書がやや不親切な面があったかも知れない。今後、改善すべき点を意識していきたい。(適切な範囲でという前提で)学生との距離を縮めることができおらず、授業に和やかな雰囲気がない、もしくは少ない。以前、教育文化学部を教えていた頃は、冗談を言ったり笑ったりできていたのだが…。授業はもちろん、きちんとやらなければいけないのだが、もう少し和やかなムードを作りたい。
- ・よかった点は、教材が興味深いものだったことである。近江誠『感動する英語』は、歴史に残るスピーチや物語をもとにした教材で、学生の関心を引くことができたとおもう。また、もうひとつの教材は、映画『第三の男』で、これの英語字幕付きの映画を毎回、10分程度みせて、どの程度内容が把握できているか、確認の小テストを行った。最終的には、日本語字幕なしで、洋画を鑑賞したことになり、学生の映画に対する関心も高かった。反省点は、『感動する英語』のスピーチを暗誦することをメインにしたために、自由な自己表現の機会が限られたこと、また、そのレポートの返却が最終日まででできなかったことである。今後改善したい。
- ・教材に頼りすぎていた面があり、授業でのゆとりがとれなかった。スピードも遅くなり、テキストを全部終了できなかった。できるだけ発音・発声をさせ、慣れさせるとともに定着できるように努めた。

### (3)初修外国語

- ・教育文化学部学生は比較的語学が得意な者が多く、毎年やり易いが、週1回という時間は、初級文法を一通り終えるのにかなりきつい長さである。今回ももう少し効率的に授業を行い、もう少し広い範囲を教えたかった。しかし、学生の評価を見ると、私のドイツ語やドイツ文化等についての話にも関心を持ってくれたようなので、文化的な話もカットし難く、配分が難しい。
- ・工学部学生は一般的に語学が苦手であるので、落ちこぼれが出ないように、分かり易く繰り返しの説明を行った。そのため、一部がよく勉強している学生には不満のある面もあったと思うが、全体のレベルを考えると、対象を考えての授業レベル設定はこれしかなかったと思う。
- ・工学部の学生は語学が苦手な者が多いので、判り易く解説することに重点を置いた。
- ・独語 T2(3)は独語 T1(3)と1まとまりの授業です。受講学生も同じです。(ただし、今年はやむをえない事情により、独語 T2(3)のみ受講している学生が3名います。)ですから、独語 T1(3)の教員 FD 活動レポートは独語 T2(3)の教員 FD 活動レポートと同じ内容になります。ですから、私は独語 T2(3)の教員 FD 活動レポートを入力することは必要ないと思い、入力しませんでした。しかし、その結果共通教育御担当の先生方、事務の方々に迷惑をおかけしました。すみません。
- ・瞬間音声伝作文を目指しているから視覚的要素(板書)は副次的機能であることを学生に知らしめているのだが…。伝語のみならず英語の基礎知識を復習確認しながら、西洋語の基本的な考えも学習させるように努めているが、時間がとられる。
- ・学生の学力基準に合わせると大学の教育水準が保てないから、大学で学習すべき西洋語の基礎(基本的考え方は外せない。それを外して学生の基準に合わせてもナンセンス。言語学・脳科学の知見に則して、表現活動を促しているが、なかなか実践してくれない。
- ・検定合格を目標とすることを明確にうたった初めての授業であった。学生達も、週一回しかない授業とはいえ、まじめに取り組み、半数以上は合格するという結果を残すことができた。しかし、検定試験を重視しすぎたためか、普段の小テストや定期試験を軽視する学生が見られたことは残念であった。異文化交流体験学習に参加する学生もおり、かつ熱心に質問する学生もあったので、興味や学習意欲も引き出すことができたのではないかと考えている。
- ・クラスの雰囲気も良く、積極的な参加がみられた。グループ分けをし、それぞれのグループでテキストを読み合ったり、作文を見せ合ったりして、互いに理解を助け合えるような授業を工夫した。くじびきで決めたところ、仲の良い者が偶然かたまり、その中に1名再受講生が入ってしまいぎくしゃくするなど、問題点も見えた。今後班分けには配慮をしたい。
- ・再受講生が23.5%(51人中12人)と非常に多く、大変やりにくいクラスであった。再受講生の遅刻ややる気のない雰囲気がクラス中に伝染するような感じで、授業時間が午後であったことと併せて、最後まで盛り上がり欠けた。これまでに教えたクラスの中でも1,2を争う雰囲気の悪いクラスであった。原因はやはり再受講生の数の多さにあり、1年生が可哀そうでもあった。しかし、受け入れないわけにもいかず、今後もこの時間の再受講生には悩まされそうである。再受講生が15%を超えるような場合には、別途、再受講生用のクラス開講をぜひとも求めたい。
- ・工学部の場合、学年によって語学のクラスは雰囲気が異なるが、今年はかなり積極的な学年で、そのせいか、中国語の発音なども非常にきれいに習得できていた。漢詩の暗唱大会などからもその成

果がうかがえる。基本をきちんと理解させることに重点をおいたので、よくできる学生には少し物足りなかったかも知れないが、全体としては、中国語への導入ができたと感じている。

- ・例年以上に興味を持って学習に取り組むクラスであった。何度も朗読させたり、詩の暗唱をさせるなど、体で言語を感じさせるように工夫した。教科書は簡単なものを選び必要以上に苦手意識を持たせないようにした。悔やまれるのは、もっと学生同士がコミュニケーションできるような活動ができなかったのか、ということである。

#### (4)保健体育科目

- ・屋外での実技のため、雨が降れば講義や技術ビデオの視聴、トレーニングの理論と実技といった内容にせざるを得ない。初心者がほとんどのクラスのため、降雨によって間が空いてしまうと技術獲得の効率が格段に落ちてしまい、学生もモチベーションが維持できなくなる。宮崎のような雨が多い所には室内運動施設が必要であり、設置を強く望む。
- ・原則、後期は前期と別の種目を受講することになっているが、今年度は、前期の受講者の多くが後期の受講についても希望したため、年度当初に作成したシラバスの内容を変更せざるを得なくなった。また、人数についても定員35名のところ9名も多い44名で実施したが、やはり目が行き届かず、十分な授業づくりはできなかった。その点が反省点である。

#### (5)環境と生命

- ・評価できる点:農学部の学生特に植物系を学ぶ学生と動物系を学ぶ学生のいずれにも理解しやすい講義内容を心がけ、パワーポイントを使って分かりやすく説明できた。反省すべき点:専ら前方の小スクリーンに映し出された画像や文章のみで説明したため、後方に着席した学生には画面がよく見えなかった。資料を配布するなどの配慮が必要であったかもしれない。
- ・スライドと話に集中できるように、重要なスライドを印刷し事前に配布した。

#### (6)倫理と文化

- ・全講義終了後に出席学生に授業から学んだことを提出させた。それにより、本年度の受講生は前回(2008年)の受講生より学力が低いことが伺われた。特に物事を抽象化することが不得手と考えた。そこで、授業においては、DVD教材、ビデオ教材を多く活用し、具体物を提示してから抽象的な理論を考えさせることとした。提供話題に関しても、具体的にイメージできるテーマ、例えば、学力向上のための勉強法といった身近であり今後役立つテーマを設定して、学力の上がる勉強法を考えさせた。ある程度の成果は、学生評価アンケートから感じられたが、教育心理学を専門とする立場からは、発達レベルが中学2年生レベルと考えられる学生が多く、到底4年間で大学4年レベルに引き上げることはできないと感じている。
- ・日本に暮らすものとして、自国の文化を理解することは大切なことである。そのために学生には大学でしか学べない教養を身につけてもらいたいと考えている。今後国際的なコミュニケーション力が問われる際にも、この授業で養った教養を駆使してほしい。
- ・毎回、授業内容についてのコメントと質問等を受講カードに記入させているが、その内容をみると、理



解のレベルも興味の度合いも2極分化する傾向が強まっているように感じられる。もともと関心が無く、積極的な学習意欲も持たない学生に届くような授業内容及び方法を考えることが今後の課題といえる。

- ・昨年度から工学部の学生が対象となり、多少学生の資質にとまどったので、本年度は、当初から学生に、コミュニケーションを図って「指導者の思い」を伝えることにした。その結果、幾分かは「指導者の思い」は伝わったのではないかと感じた。しかし、コミュニケーションを図ろうとしても、「わかりません」と答える学生が多く、その意図するところを把握できないところもあった。何度も繰り返し、その意図するところを聞くうちに「もし間違った答えを言う人がどのように思うか気になって”わかりません”と答える」という回答に行き着くことにもなった。来年度は、さらにコミュニケーションを図れる講義を考えたいと考えている。
- ・工学部の学生は見る事が少ないと思われるビデオなどを活用したことは、学生の注意を喚起したとともに、午後1コマ目のために睡眠を促すことにもなったようで、評価点であるとともに、使い方は反省点でもある。

#### (7) 現代社会の課題

- ・今期は、授業の内容構成について、近代の始まりの部分を縮小し、受講生の生まれて以降の時期の講義を充実させるように取り組んだ。今後、更に、受講生の関心と切り結ぶ点の多い内容構成となるように工夫したい。
- ・毎回配付している受講者のコメント資料(前回実施授業の感想を記している)をただ配付するだけではなく、きちんと読ませる時間を15分程度設定した。半期授業で2回程度であったが、強制的に向き合わせ、相互発見させる意味で有意義であった。
- ・映像等を含めた最新の資料を使うことによって、学生の興味・関心を高めることができたのではないかと。授業外の予習・復習は課さなかったものの、社会動向に関する意識の向上を通じて、発展学習の意欲を涵養することはできたと思われる。今後は、以下の設問にも関連するが、学生の自発的な授業への参加を図るために、グループディスカッションやワークなどの方法をより研さんしていきたいと考えている。

#### (8) 自然の仕組み

- ・数学に対する学生のレベルの幅が広い。より多くの学生に理解して欲しいとの考えから、低めに設定し、丁寧に、何回も繰り返して説明した。そのためか、良かったとの意見が複数あったが、一方ではもっと進めよという意見も見られた。しかし、私は上記の考えで良いと思っているので、この設定を続けていきたいと思っている。なお、話をしたいテーマが1つあり、以前はそこまで進むことができていたということからそこまでは行きたいとも思うが、落伍者が増える恐れもあり、用心して様子を見つつ、じわじわと広げていきたいと思っている。
- ・昨年度に当科目を初めて担当して、今年度で2年目である。昨年度に比べて授業内容、試験の難易度などを改善できた。
- ・毎回小テストをする予定でいたが、出張等があり、殆ど実施することができなかった。

- ・評価できる点として、授業内容を PowerPoint で作成し、講座のホームページから学生がダウンロードできるようデータ化した点が挙げられる。反省すべき点として、今後は上記の方法で授業の 1 週間前に内容を開示し、学生が予習できるようにしたい点である。
- ・一般(共通)教育としての「宇宙地球科学」の内容として、どのような内容がふさわしいか、他大学教員の著作等を参照しつつ、またこれまでの授業経験に照らし、次のような方針のもとに授業を実施している。(1)高校までの基礎を前提として、できるだけ分野の最新の知見を提供すること。(2)概念的な理解に偏らないために、その裏づけとなる簡単な計算による演習的要素を導入すること。(3)社会人としての基礎的・普遍的教養を提供すること。例としては「空間・時間・物質」の起源は何か、生活の大前提でありながら見逃されやすい問題について考察してもらうこと。

### (9) 選択教養科目

- ・今回、初めて綾町のまちづくりの学習の際に綾町で栽培され町役場が認証する有機野菜とスーパーの野菜の食べ比べを行った。明らかに有機野菜が美味しいと学生が感じて授業への関心が高まった。こうした取り組みとともに来年度はワークショップも実施できればと感じている。
- ・講義内容の性質からある程度の「見やすい」教材は必要だと考えてスライド作成には時間をかけた。今年は例年の内容に加えて少々高度なことも解説したが、どのくらいの効果があっただろうか。
- ・少し、タイムリーな内容のため、準備が時間が必要となる。そのため、なかなか授業内容がタイムリーな話題に対応できていない点が反省点である。
- ・概ね学生の学習モチベーション向上の目的は得られたと感じている。また多くの受講生に宮崎の産業ならびに産学連携に関する現状を知ってもらった。
- ・同時間帯に英語の必修が設定されたことにより、受講者が減少した。そのため、人数が必要な種目を希望する学生には、少人数でも可能な種目を選択してもらうなど、少し無理があった。受講者を増やす方法として、3, 4 年生でも受講ができることを周知させていきたい。
- ・選択中国語Ⅱでは、学生のレベルにかなり差ができており、全員を満足させる授業を行うのはかなり難しかった。最初のうちは、少し丁寧すぎた感があり、後半は、ややスピードを上げて説明した後、わからない人にはあとで質問をするように促した。とはいえ、学生によっては個別に質問するのを躊躇する者もあり、どの程度理解してくれたのかはやや不明である。発音練習を増やしてなるべく声を出すように促したり、また、指名して答えさせたり、と、少人数ゆえに実現できた点は良かったと感じている。

【「地域を教材とした共通教育プログラム」に該当する特色ある活動がありましたら、記述ください。】

#### (1) 初修外国語

- ・文化活動(レクチャコンサート、演奏会)に出演、お手伝い、参加させた。

#### (2) 保健体育科目

- ・M-KID'S エクササイズは宮崎市の子どもたちに体力低下と運動嫌いを防止するために開発されたエ

クササイズであり、宮崎市内の全小学校や中学校の一部でも取り組んでいるものである。このエクササイズを、体力と高める運動として授業の中で取り組んでいる。

### (3) 倫理と文化

- ・講義内の話題として「宮崎」を取りあげた。宮崎で展開されている教育、法教育、不登校（日本一少ない）、学力、ひきこもり問題等を取りあげた。
- ・私の担当科目が「日本語と文化」ということなので、宮崎に残る石碑を取り上げた。碑文を読み取って、地域の歴史や文化に触れる取り組みの一端を紹介した。
- ・郷土出身作家の作品や、県内美術館での展覧会情報を紹介する。
- ・日本初の国際人と思われる伊東マンショ（宮崎出身、本年度没後400年）の生きた時代の東西交流史を、マンショが体験した音楽を通して検証する。
- ・宮崎県の衣服素材について、資料に基づいて説明した。

### (4) 現代社会の課題

- ・バブル経済の影響の項目で、シーガイアおよび宮崎市中心市街地を例として取り上げたところ、身近な実例で興味を引かれたという感想が複数寄せられた（授業感想用紙への記述）。

### (5) 選択教養科目

- ・今回、初めて綾町のまちづくりの学習の際に綾町で栽培され町役場が認証する有機野菜とスーパーの野菜の食べ比べを授業で行った。明らかに有機野菜が美味しいと学生が感じて授業への関心が高まった。こうした取り組みとともに来年度はワークショップも実施できればと感じている。
- ・産学・地域連携センターの客員教授をスピーカーとして迎えた本科目では、宮崎における農業ならびに商工業について講義がなされた。

- ・ 多くの教員が情熱をもって授業に取り組んでいる。

## 第8章 科目ごとのデータ一覧

以下に平成 23 年度後学期のすべての共通教育科目(196 科目)のうち、「学生による授業評価」が提出された 167 科目のデータを掲載する。科目名, 担当教員名等は掲載しない。

評価は「4:あてはまる。3:ややあてはまる。2:あまりあてはまらない。1:あてはまらない。」の4段階で行われている。

また, 質問は以下の12項目である。

A:回答者(学生)自身について

- 1 私は75%以上授業に出席した。
- 2 私は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。
- 3 私はこの科目の「達成目標」に到達した。

B:担当教員の教え方について

- 4 授業はシラバスに沿って行われた。
- 5 授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。
- 6 話し方, 板書の仕方, 機器又は器具の使い方, 等が適切だった。
- 7 重要ポイントが明らかで, 説明も分かり易かった。
- 8 学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。
- 9 授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。

C:その他

- 10 クラスサイズ(受講生数)は適切だった。
- 11 学習環境は適切だった。

D:総合的な授業評価

- 12 この授業は満足できるものだった。

なお, 科目の掲載に際しては, 質問 12(総合満足度)の評価の高い順に並べ替えてある。

【1】情報科学入門 M(1 科目)

	質問	質問	質問	質問	質問	質問	質問	質問	質問	質問	質問	質問
No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	3.7	3.6	3.4	3.7	3.5	3.7	3.6	3.5	3.5	3.7	3.7	3.6

※未提出の科目はない。

【2】英語(25 科目)

	質問	質問	質問	質問	質問	質問	質問	質問	質問	質問	質問	質問
No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	4.0	3.8	3.3	3.9	3.8	3.8	3.7	3.6	3.7	3.9	3.9	3.8
2	3.8	3.6	3.4	3.7	3.7	3.6	3.6	3.7	3.6	3.8	3.8	3.7
3	3.8	3.6	3.4	3.6	3.6	3.6	3.7	3.5	3.6	3.6	3.7	3.7
4	3.8	3.5	3.5	3.5	3.8	3.8	3.6	3.7	3.6	3.8	3.8	3.7
5	3.8	3.3	3.2	3.6	3.5	3.6	3.3	3.4	3.2	3.7	3.8	3.6
6	3.9	3.7	3.3	3.8	3.6	3.7	3.7	3.4	3.4	3.6	3.6	3.6
7	3.7	3.4	2.9	3.5	3.6	3.5	3.5	3.4	3.5	3.8	3.8	3.6
8	3.9	3.6	3.6	3.8	3.6	3.6	3.5	3.3	3.4	3.7	3.7	3.5
9	3.9	3.5	3.2	3.4	3.4	3.6	3.3	3.5	3.4	3.8	3.7	3.5
10	3.8	3.6	3.2	3.7	3.6	3.7	3.5	3.4	3.6	3.8	3.7	3.5
11	3.8	3.6	3.3	3.6	3.4	3.4	3.5	3.4	3.3	3.5	3.5	3.5
12	3.9	3.4	3.4	3.8	3.6	3.6	3.6	3.1	3.4	3.8	3.7	3.4
13	3.9	3.3	3.2	3.7	3.5	3.5	3.3	3.0	3.3	3.6	3.5	3.3
14	3.7	3.4	3.0	3.8	3.5	3.7	3.5	3.2	3.6	3.5	3.8	3.3
15	3.8	3.3	2.8	3.8	3.4	3.8	3.5	3.0	3.4	3.8	3.5	3.3
16	3.9	3.4	3.4	3.7	3.5	3.5	3.3	3.0	3.3	3.7	3.6	3.2
17	3.7	3.2	3.2	3.6	3.4	3.4	3.2	2.9	3.1	3.6	3.5	3.2
18	3.9	3.3	3.2	3.2	3.4	3.3	3.2	3.2	3.0	3.5	3.4	3.2
19	3.7	3.1	2.7	3.7	3.3	3.2	3.0	2.7	3.1	3.6	3.4	3.2
20	3.9	3.3	2.7	3.7	3.2	3.5	3.5	3.0	3.3	3.6	3.4	3.2
21	3.8	3.4	3.1	3.8	3.5	3.5	3.3	2.8	3.4	3.7	3.7	3.2
22	3.8	3.4	3.5	3.8	3.5	3.5	3.3	2.8	3.2	3.6	3.5	3.1
23	3.7	3.5	3.1	3.7	3.4	3.4	3.2	3.0	3.4	3.5	3.5	3.1
24	3.7	3.2	2.9	3.6	3.2	3.4	3.3	2.9	3.3	3.5	3.4	3.1
25	3.8	3.2	2.9	3.7	3.3	3.5	3.2	2.8	3.2	3.6	3.6	2.9

※4 科目が未提出。

【3】コミュニケーション英語(31科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	4.0	3.6	3.5	3.8	3.7	3.8	3.8	3.7	3.8	3.9	3.8	3.9
2	3.9	3.8	3.6	3.8	3.9	3.9	3.8	3.9	3.7	3.9	3.8	3.9
3	3.9	3.6	3.4	3.8	3.9	3.9	3.8	3.8	3.9	3.9	3.8	3.9
4	3.8	3.8	3.5	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.9
5	3.9	3.8	3.4	3.6	3.9	3.9	3.6	3.9	3.6	3.9	3.8	3.9
6	3.8	3.7	3.5	3.9	3.7	3.7	3.8	3.6	3.7	3.8	3.6	3.8
7	3.8	3.5	3.5	3.9	3.8	3.9	3.7	3.7	3.9	4.0	3.8	3.8
8	3.9	3.6	3.5	3.8	3.7	3.8	3.8	3.3	3.7	4.0	3.9	3.8
9	3.9	3.8	3.4	3.8	3.7	3.8	3.6	3.6	3.3	3.8	3.7	3.8
10	4.0	3.6	3.3	3.6	3.6	3.8	3.6	3.8	3.6	3.9	3.9	3.8
11	3.8	3.6	3.2	3.6	3.7	3.6	3.7	3.5	3.4	3.8	3.6	3.8
12	3.8	3.7	3.5	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.3	3.7	3.8	3.8
13	3.9	3.5	3.0	3.7	3.5	3.8	3.5	3.5	3.7	3.8	3.8	3.7
14	4.0	3.6	3.1	3.4	3.6	3.6	3.6	3.4	3.5	3.8	3.8	3.7
15	3.8	3.7	3.5	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.6	3.7	3.6	3.7
16	3.8	3.7	3.5	3.8	3.7	3.8	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.7
17	3.9	3.4	3.3	3.6	3.7	3.6	3.6	3.5	3.5	3.6	3.6	3.6
18	3.9	3.5	3.2	3.7	3.7	3.8	3.4	3.5	3.5	3.9	3.7	3.6
19	3.9	3.7	3.3	3.9	3.4	3.6	3.2	3.3	3.5	3.8	3.7	3.6
20	3.9	3.5	3.3	3.9	3.6	3.7	3.7	3.4	3.6	3.6	3.5	3.6
21	3.8	3.4	3.0	3.6	3.4	3.7	3.5	3.5	3.2	3.4	3.5	3.6
22	3.9	3.5	3.1	3.8	3.7	3.7	3.5	3.6	3.4	3.7	3.8	3.6
23	3.9	3.5	3.3	3.6	3.5	3.6	3.5	3.6	3.6	3.5	3.7	3.6
24	3.9	3.6	3.4	3.7	3.6	3.6	3.5	3.2	3.5	3.9	3.8	3.5
25	3.7	3.3	3.1	3.6	3.3	3.6	3.5	3.1	3.3	3.6	3.6	3.5
26	3.9	3.5	3.3	3.6	3.5	3.4	3.3	3.4	3.5	3.7	3.6	3.5
27	4.0	3.6	3.0	3.6	3.5	3.6	3.6	3.5	3.6	3.8	3.6	3.4
28	3.8	3.3	3.0	3.5	3.2	3.3	3.5	3.2	3.1	3.6	3.5	3.4
29	3.8	3.4	3.1	3.4	3.2	3.4	3.4	3.1	3.3	3.5	3.6	3.3
30	3.7	3.1	3.1	3.1	3.3	3.1	3.0	2.9	3.2	3.5	3.4	3.1
31	3.9	3.5	3.0	3.7	3.2	2.6	3.0	2.8	3.4	3.7	3.7	2.9

※4科目が未提出。

【4】初修外国語(40科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	4.0	3.5	3.7	4.0	4.0	4.0	4.0	3.7	4.0	3.7	4.0	4.0
2	3.7	3.7	3.5	4.0	4.0	3.7	4.0	3.7	3.7	4.0	4.0	4.0
3	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
4	4.0	3.8	3.5	3.8	3.7	3.7	3.7	3.6	3.7	3.8	3.7	3.8
5	3.9	3.5	3.3	3.6	3.6	3.6	3.7	3.7	3.6	3.8	3.8	3.8
6	3.8	3.6	3.6	3.7	3.6	3.8	3.6	3.5	3.7	3.8	3.7	3.8
7	3.8	3.6	3.5	3.8	3.7	3.7	3.8	3.6	3.7	3.7	3.8	3.8
8	3.8	3.6	3.5	3.8	3.7	3.7	3.8	3.6	3.7	3.7	3.8	3.8
9	3.9	3.6	3.5	3.8	3.9	3.9	3.9	3.7	3.8	3.9	3.9	3.8
10	3.8	3.6	3.4	3.8	3.7	3.7	3.8	3.5	3.7	3.7	3.7	3.8
11	3.7	3.5	3.4	3.6	3.6	3.6	3.6	3.5	3.5	3.6	3.6	3.7
12	3.9	3.9	3.6	3.7	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8	3.9	3.9	3.7
13	3.8	3.5	3.1	3.5	3.5	3.6	3.7	3.4	3.7	3.8	3.8	3.6
14	3.9	3.6	2.9	3.7	3.3	3.6	3.6	3.3	3.6	3.8	3.7	3.6
15	3.9	3.5	3.2	3.6	3.5	3.4	3.4	3.2	3.6	3.8	3.8	3.6
16	3.9	3.5	3.2	3.7	3.6	3.6	3.7	3.4	3.6	3.8	3.7	3.6
17	3.9	3.7	3.4	3.8	3.7	3.5	3.2	3.3	3.6	3.9	3.9	3.6
18	3.8	3.7	3.5	3.7	3.7	3.6	3.7	3.6	3.6	3.7	3.7	3.6
19	3.8	3.6	3.5	3.7	3.6	3.6	3.7	3.4	3.6	3.6	3.6	3.6
20	3.9	3.7	3.4	3.6	3.5	3.5	3.5	3.4	3.7	3.8	3.7	3.6
21	3.8	3.5	3.4	3.6	3.6	3.6	3.6	3.4	3.5	3.7	3.7	3.6
22	3.9	3.7	3.2	3.6	3.3	3.3	3.3	3.3	3.7	3.9	3.9	3.5
23	3.9	3.4	3.2	3.7	3.7	3.4	3.5	3.5	3.3	3.8	3.8	3.5
24	3.9	3.7	3.6	3.7	3.4	3.3	3.3	3.4	3.4	3.8	3.7	3.5
25	3.9	3.7	3.1	3.7	3.6	3.5	3.5	3.6	3.4	3.8	3.8	3.5
26	3.9	3.6	3.3	3.6	3.4	3.3	3.4	3.4	3.6	3.7	3.6	3.5
27	3.9	3.2	3.3	3.5	3.5	3.6	3.5	3.2	3.5	3.6	3.6	3.4
28	3.9	3.2	3.3	3.5	3.5	3.6	3.5	3.2	3.5	3.6	3.6	3.4
29	3.7	3.5	3.3	3.4	3.2	3.1	3.0	3.2	3.4	3.5	3.3	3.4
30	3.9	3.7	3.3	3.6	3.4	3.3	3.5	3.3	3.6	3.7	3.7	3.4
31	3.7	3.5	3.4	3.5	3.5	3.5	3.5	3.4	3.5	3.6	3.5	3.4
32	3.8	3.4	3.2	3.6	3.4	3.3	3.4	3.3	3.3	3.6	3.6	3.4
33	3.8	3.1	2.8	3.5	3.2	3.5	3.4	3.0	3.3	3.6	3.5	3.3
34	3.7	3.4	3.2	3.5	3.5	3.3	3.2	3.2	3.3	3.5	3.4	3.3
35	3.9	3.2	2.9	3.5	3.1	3.2	3.2	3.0	3.4	3.5	3.5	3.2
36	3.9	3.2	2.9	3.5	3.1	3.2	3.2	3.0	3.4	3.5	3.5	3.2
37	3.8	3.1	3.0	3.0	3.2	2.8	3.0	2.8	2.7	3.5	3.5	3.1
38	3.8	3.1	3.0	3.0	3.2	2.8	3.0	2.8	2.7	3.5	3.5	3.1
39	3.8	3.0	2.7	3.1	2.7	2.9	2.7	2.8	2.9	3.5	3.5	2.9
40	3.7	2.8	2.3	2.8	2.1	2.1	2.3	2.1	2.6	3.3	3.3	2.4

※未提出の科目はない。

【5】保健体育科目(11科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.9	3.7	3.9	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.8	3.9
2	4.0	3.9	3.9	3.8	3.8	3.7	3.8	3.9	3.8	4.0	3.9	3.9
3	4.0	3.9	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.6	3.8	3.9	3.8
4	3.9	3.8	3.6	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.5	3.9	3.8	3.8
5	3.9	3.8	3.7	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.4	3.8	3.8	3.8
6	4.0	3.8	3.3	3.8	3.8	3.7	3.7	3.6	3.3	3.8	3.8	3.8
7	3.9	3.8	3.5	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	3.6	3.8	3.8	3.8
8	4.0	3.9	3.7	3.7	3.8	3.7	3.6	3.6	3.4	3.8	3.7	3.7
9	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	3.6	3.5	3.6	3.4	3.6	3.7	3.6
10	3.9	3.5	3.3	3.7	3.7	3.5	3.5	3.5	2.7	3.1	3.4	3.5
11	3.9	3.5	3.4	3.6	3.3	3.3	3.3	3.4	2.7	3.4	3.6	3.4

※1科目が未提出。

【6】主題教養科目(環境と生命)(8科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.8	3.5	3.3	3.8	3.6	3.7	3.5	3.4	3.1	3.8	3.7	3.6
2	3.9	3.6	3.6	3.8	3.6	3.6	3.5	3.5	3.3	3.7	3.7	3.6
3	3.9	3.6	3.4	3.8	3.4	3.6	3.5	3.4	3.2	3.7	3.7	3.5
4	3.8	3.5	3.4	3.7	3.4	3.5	3.4	3.4	3.2	3.7	3.6	3.5
5	3.7	3.4	3.3	3.7	3.4	3.5	3.4	3.3	3.0	3.6	3.5	3.4
6	3.9	3.5	3.4	3.4	3.3	3.4	3.3	3.4	3.2	3.5	3.5	3.4
7	3.8	3.3	3.2	3.5	3.2	3.2	3.2	3.2	3.0	3.3	3.4	3.3
8	3.8	3.3	3.3	3.7	3.3	3.3	3.3	3.2	3.0	3.2	3.3	3.3

※未提出の科目はない。



【7】主題教養科目(倫理と文化)(10科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.7	3.6	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.7	3.5	3.6	3.9
2	3.9	3.8	3.6	3.7	3.8	3.7	3.8	3.7	3.6	3.5	3.7	3.8
3	3.8	3.4	3.3	3.6	3.6	3.8	3.6	3.6	3.1	3.7	3.7	3.7
4	3.8	3.5	3.5	3.6	3.6	3.5	3.5	3.5	3.3	3.3	3.5	3.6
5	3.8	3.3	3.3	3.6	3.5	3.6	3.5	3.5	3.2	3.5	3.6	3.5
6	3.8	3.5	3.4	3.6	3.4	3.5	3.4	3.4	3.3	3.4	3.6	3.5
7	3.9	3.4	3.3	3.5	3.4	3.4	3.3	3.2	3.1	3.5	3.6	3.4
8	3.8	3.6	3.2	3.7	3.3	3.5	3.3	3.2	3.2	3.7	3.7	3.4
9	3.8	3.2	3.1	3.3	3.2	3.2	3.0	3.2	3.0	3.6	3.6	3.3
10	3.8	3.0	3.0	3.4	3.0	3.1	2.8	2.8	2.8	3.4	3.4	2.9

※2科目が未提出。

【8】主題教養科目(現代社会の課題)(8科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.7	3.5	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.9	3.9	3.8
2	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8
3	3.9	3.7	3.6	3.7	3.5	3.7	3.6	3.7	3.5	3.8	3.8	3.7
4	3.8	3.4	3.3	3.5	3.5	3.3	3.2	3.4	3.2	3.6	3.7	3.5
5	3.7	3.3	3.3	3.7	3.5	3.4	3.4	3.3	3.0	3.3	3.5	3.4
6	3.8	3.3	3.1	3.5	3.3	3.2	3.2	3.1	3.1	3.5	3.5	3.2
7	3.8	3.0	2.8	3.5	3.0	3.2	3.0	2.9	2.9	3.5	3.5	3.1
8	3.8	3.4	3.2	3.4	3.1	3.0	2.9	2.9	2.8	3.4	3.5	3.1

※3科目が未提出。

【9】主題教養科目(自然の仕組み)(7科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.8	3.5	3.3	3.7	3.6	3.7	3.7	3.5	3.3	3.6	3.7	3.7
2	3.9	3.4	3.4	3.8	3.5	3.5	3.7	3.6	3.3	3.7	3.8	3.7
3	3.9	3.6	3.4	3.8	3.3	3.6	3.4	3.2	3.0	3.7	3.7	3.5
4	3.8	3.4	3.2	3.7	3.3	3.5	3.2	3.2	2.9	3.3	3.5	3.3
5	3.9	3.6	3.3	3.6	3.1	3.3	3.1	3.0	3.4	3.7	3.7	3.3
6	3.9	3.2	2.8	3.5	2.2	2.7	2.5	2.5	3.2	3.7	3.7	2.8
7	3.9	3.3	2.8	3.2	2.6	2.6	2.4	2.4	2.9	3.4	3.5	2.7

※1科目が未提出。

【10】選択教養科目(文化・社会系)(6科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.7	3.4	3.6	3.9	3.9	4.0	3.9	4.0	3.7	3.9	3.9	4.0
2	3.0	2.9	2.9	3.4	3.6	3.3	3.2	3.5	2.7	3.4	3.5	3.5
3	3.8	3.2	2.9	3.6	3.2	3.3	3.4	3.2	3.3	3.7	3.7	3.4
4	3.5	3.3	3.0	3.6	3.4	3.5	3.3	3.3	3.0	3.5	3.5	3.3
5	3.8	3.1	2.6	2.6	3.1	3.1	3.3	3.1	2.0	3.5	3.1	3.1
6	3.8	3.2	2.7	3.3	2.7	2.8	2.6	2.5	2.7	3.4	3.4	2.8

※3科目が未提出。

【11】選択教養科目(科学・技術系)(6科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.8	3.5	3.4	3.6	3.8	3.9	3.7	3.7	3.4	3.5	3.8	3.9
2	3.5	3.2	3.0	3.5	3.0	3.0	2.7	3.0	2.5	3.0	3.7	3.7
3	3.7	3.2	3.3	3.7	3.6	3.6	3.6	3.4	3.0	3.6	3.5	3.6
4	3.9	3.6	3.5	3.7	3.6	3.5	3.4	3.4	3.3	3.6	3.5	3.5
5	3.8	3.5	3.3	3.5	3.2	3.2	3.3	3.1	3.4	3.7	3.7	3.4
6	3.5	2.8	3.1	3.7	3.4	3.5	3.1	3.0	2.4	3.5	3.5	3.3

※未提出の科目はない。

【12】選択教養科目(生命科学系)(3科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	4.0	3.4	3.5	3.8	3.3	3.5	3.1	3.7	3.3	3.8	3.7	3.8
2	3.8	3.6	3.5	3.9	3.7	3.6	3.6	3.6	3.2	3.7	3.7	3.7
3	3.7	3.0	3.0	3.4	3.1	3.1	3.0	3.0	2.9	3.6	3.3	3.1

※1科目が未提出。

【13】選択教養科目(複合・学際系)(2科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.8	3.8	3.6	3.9	3.8	3.8	3.9	3.3	3.9	3.9	3.8
2	3.7	3.6	3.5	3.8	3.6	3.6	3.5	3.6	3.3	3.6	3.6	3.7

※3科目が未提出。

【14】選択教養科目(キャリア・生涯学習系)(6科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	4.0	3.7	3.6	3.8	3.8	3.8	3.9	4.0	3.6	3.9	3.9	4.0
2	3.8	3.9	3.7	3.8	3.8	3.7	3.6	3.7	3.4	3.7	3.9	3.8
3	3.9	3.7	3.7	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	3.2	3.3	3.6	3.7
4	3.8	3.6	3.6	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6	3.2	3.4	3.5	3.6
5	3.9	3.6	3.4	3.6	3.6	3.6	3.5	3.5	3.1	3.1	3.3	3.6
6	3.8	3.5	3.4	3.7	3.6	3.5	3.4	3.4	3.2	3.6	3.5	3.5

※1科目が未提出。

【15】選択教養科目(外国語系)(3科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.8	3.3	3.0	3.8	3.8	3.8	4.0	3.8	3.8	3.8	4.0	4.0
2	4.0	3.8	3.3	3.5	3.5	3.8	3.8	3.8	3.6	3.6	3.8	3.6
3	4.0	3.7	2.7	3.1	3.4	3.4	3.3	3.1	3.5	3.7	3.5	3.5

※1科目が未提出。

【16】選択教養科目(日本語・日本事情)(0科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
-----	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	----------	----------	----------

※5科目が未提出。

**(平成 23 年度)**

境 幸 夫 (教育文化学部・共通教育部長)

◎辻 川 亨 (工学部)

○伊佐敷 隆弘 (教育文化学部)

秋 山 博 臣 (教育文化学部)

南 太 一 郎 (教育文化学部)

秦泉寺 尚 (教育文化学部)

塩盛 弘一郎 (工学部)

山 田 涉 (教育文化学部)

湯 井 敏 文 (工学部)

西 脇 亜 也 (農学部)

山 北 聡 (教育文化学部)

根 本 清 次 (医学部)

青 山 智 夫 (工学部)

雉子谷 佳男 (農学部)

武 方 壮 一 (教育・学生支援センター)

(◎は委員長 ○は副委員長)

**(平成 24 年度)**

酒 井 正 博 (農学部・共通教育部長)

◎飯 田 雅 人 (工学部)

○伊佐敷 隆弘 (教育文化学部) ★

荒 木 賢 二 (医学部)

金 智 賢 (教育・学生支援センター) ★

秦泉寺 尚 (教育文化学部) ★

池 田 哲 也 (医学部)

山 田 涉 (教育文化学部)

湯 井 敏 文 (工学部)

西 脇 亜 也 (農学部)

柏 葉 武 秀 (教育文化学部)

根 本 清 次 (医学部) ★

雉子谷 佳男 (工学部)

武 方 壮 一 (教育・学生支援センター)

(◎は委員長 ○は副委員長)

(★は 23 年度報告書作成 WG)

\*なお、授業評価に係るデータ処理に関して武方委員に多大な尽力を賜った。特記して謝意を表したい。